

お口の恋人

LOTTE

SUSTAINABILITY REPORT

2018

ロッテ サステナビリティ レポート 2018

サステナビリティレポート2018

| | |
|-------------------------------|----|
| ● トップメッセージ | 1 |
| ● 企業理念 | 2 |
| ● コーポレート・ガバナンス | 4 |
| ● すぐわかるロッテのサステナビリティ | 7 |
| ● 特集 ロッテのサステナビリティ | 10 |
| ● 特集 ロッテノベーション | 15 |
| ● 特集 サステナビリティ・ハイライト2018 | 19 |
| ● 品質・安全 | 22 |
| ● コンプライアンス | 28 |
| ● 情報開示 | 30 |
| ● 従業員 | 35 |
| ● 環境 | 40 |
| ● 社会貢献 | 50 |
| ● 海外の取り組み | 57 |

報告内容について

対象期間： 本レポートは、2018年4月合併前の株式会社ロッテ、ロッテ商事株式会社、株式会社ロッテアイスの活動を基本に紹介しています。
環境パフォーマンスにかかわるデータについては、浦和、狭山、九州、滋賀、神戸の5工場を範囲としています。
(神戸工場は2017年11月に閉鎖)

対象範囲： 2017年4月1日～2018年3月31日
※ただし、報告の一部には、直近の情報も含まれます。

報告年月： 2018年8月

MESSAGE

トップメッセージ

ESGへの取り組みを加速させ、
持続可能な社会の実現に貢献します。

株式会社ロッテ
代表取締役社長

牛腸 栄一



昨今、様々な社会課題が地球規模で顕在化し、国連において持続可能な開発目標（SDGs）が採択されるなど、地球上のすべての人を対象として課題解決に向けた取り組みに注目が集まっています。それは政府や市民社会のみならず私たち企業においても重要な課題であると認識しております。特に、日本では2015年に年金積立金管理運用独立法人（GPIF）が国連の責任投資原則（PRI）に署名したことでESG（環境・社会・企業統治）が企業評価の指標として脚光を浴びるようになってきました。私たちロッテもグローバルに事業を展開する企業として、社会課題の解決に貢献すべくESGへの取り組みをスタートさせております。

ロッテは、2018年に創業70周年を迎えました。創業以来、「ユーザーオリエンテッド（お客様第一）」「オリジナリティ（独創性）」「クオリティ（最上の品質）」という3つのロッテバリューを全ての企業活動の基本とし、これまでにないやり方で新しい価値を生み出し、社会に貢献してきました。一例を挙げると1997年発売のキシリトールガムは、それまでの常識を覆し、ガムで歯を丈夫で健康に保つという新たな価値を提供することで、「虫歯のない社会へ」という社会課題の解決に貢献してまいりました。このように、私たちロッテ70年の歴史は、経済価値と同時に社会価値を創り出すCSV（共通価値の創造）への挑戦であったと言っても過言ではありません。それを今では「ロッテノベーション」を合言葉とし、新たなイノベーション（革新）にチャレンジしています。今後も、製品・サービスはもちろん、あらゆる企業活動を通してロッテらしい価値を創造し、ESGへの取り組みを加速してまいります。

そのために、まずは私たちロッテが取り組むべき課題を整理し、それらに対して目標を設定していきます。さらに、情報発信やステークホルダーの皆様との協力を強化し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

本レポートでは、これら持続可能な社会の実現に関するさまざまな活動を報告しております。ぜひご覧いただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

企業理念

お口の恋人

LOTTE

コーポレートメッセージ

ロッテグループ理念体系

LOTTE Group Mission

私たちはみなさまから愛され、
信頼される、よりよい製品や
サービスを提供し、
世界中の人々の豊かな
暮らしに貢献します。

LOTTE Values

- ユーザー オリエンテッド
- オリジナリティ
- クオリティ

LOTTE Group Way

- 📦 安全・安心 📍 公明正大
- 🗣️ コミュニケーション
- 👤 従業員 🌱 環境
- 🤝 社会貢献
- 🌐 コミュニティ

Corporate Message

一人でも多くの人々に愛される会社、愛される製品づくりを目指して。
ロッテの社名は、ドイツの文豪ゲーテが著した名作『若きウェルテルの悩み』の中に登場するヒロイン
“シャルロッテ”に由来します。「お口の恋人」というメッセージには、
「永遠の恋人」として知られる彼女のように、
世界中の人々から愛される会社でありたいという願いが込められています。

LOTTE Group Mission

私たちはみなさまから愛され、信頼される、よりよい製品や
サービスを提供し、世界中の人々の豊かな暮らしに貢献します。

LOTTE Values [大事にすべき価値]

ユーザー オリエンテッド 消費者の立場になって考えること
「最も大切な顧客は消費者」という原点を忘れずに奉仕の心を持ち
人々の豊かな生活に貢献できる製品・サービスを提供していきます。

オリジナリティ 独創的なアイデアを探しつづけること
あらゆる事業領域において、独創的なアイデアを探し続けて、挑戦していきます。
常に「チャレンジ精神」を発揮し、情熱を持って取り組む事で、
環境や社会に貢献できる新たなビジネスチャンスを発見していきます。

クオリティ すべてにわたって最上の品質を究めること
最高の原料・技術・設備による最高の製品とサービスを提供します。
ロッテの考えるクオリティは製品そのものに加え、お客様に「楽しさ」、「おいしさ」、「やすらぎ」を約束します。

LOTTE Group Way [行動憲章]



安全・安心

1. 安全で安心できる高品質の
製品・サービスを提供します。



公明正大

2. 正直な企業であり続けます。



コミュニケーション

3. 情報をお伝えします。



従業員

4. 働く人を大切にします。



環境

5. 環境問題を重視しています。



社会貢献

6. 社会貢献にも積極的に取り組みます。



コミュニティ

7. 海外でも社会貢献を推進します。

GOVERNANCE

コーポレート・ガバナンス

企業統治体制の整備を進め、
透明性の高い企業経営に努めていきます。



コーポレート・ガバナンス

❖ 基本的な考え方

お客様をはじめとしたさまざまなステークホルダーのみなさまから信頼される企業であり続けるためには、健全で誠実な企業経営の継続が不可欠です。私たちはこれからも企業統治体制の整備を進め、透明性の高い企業経営に努めていきます。

以下、本ページでは、コーポレート・ガバナンスに関し、2018年7月21日現在の株式会社ロッテの最新の体制を記載しています。



❖ コーポレート・ガバナンス体制

経営の意思決定機関は取締役会で、業務執行を監督する役割も担っています。

また、2004年度には執行役員制度を導入し、経営と業務執行の分離を進めるとともに、意思決定の迅速化を図っています。

2018年7月21日現在、株式会社ロッテでは、取締役12名（うち社外取締役3名）執行役員24名の体制で経営を担っています。

❖ 経営を監視する体制

監査役が経営を監視する役割を担っています。監査役は、取締役の職務執行を監督・監視し、法令違反や他の不正行為の防止に努めています。2018年6月には、さらなる監査機能の強化のために監査役会を設置しました。

また、内部監査では、監査部が各部門に対して定期的な監査のほか、必要に応じて個別の監査を行い、さらなる経営の健全性向上に取り組んでいます。

これらに加えて、外部監査機関による会計監査を実施し、第三者の視点からグループ経営の適法性を検証するとともに、財務情報の信頼性と透明性の向上を図っています。

また、客観的、中立的な立場から取締役会への助言をいただくことを目的に、社外取締役を選任しました。これにより、さらなるコーポレート・ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底を図り、経営基盤を磐石なものとしています。

リスクマネジメント

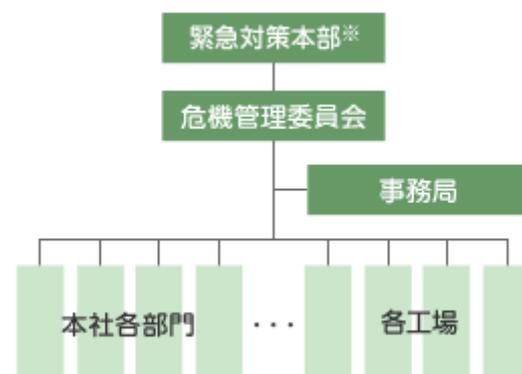
❖ 基本的な考え方

各関連部門からの代表者で構成される「危機管理委員会」が、全社のリスクマネジメントを統括する役割を担っており、グループ横断的なリスク管理体制を構築しています。

危機管理委員会では、変化し続けるリスク要因を見直し、事業活動を行う上で顕在化し得るリスクの防止に努めるとともに、顕在化した際の被害を最小限に抑えるための対策などに取り組んでいます。

また、お客様の安全・安心をおびやかす品質問題などが発生した場合に備え、「緊急事態対応マニュアル」を作成しています。緊急事態対応マニュアルは、定期的に内容の見直し、改訂を行い、全従業員が迅速かつ適切に行動できるように示しています。

危機管理体制図



※ 重大リスク発生時のみ設置

❖ 従業員への教育・研修

事故、災害をはじめとする緊急事態が起きたときに備え、全従業員に「危機管理ガイドブック」を配布し、通読を促しています。

また、新入社員や中途採用者など、新たに入社する従業員に対しては、「緊急事態対応マニュアル」に基づく研修を実施し、不測の事態にも落ち着いて、適切な行動が行えるよう指導・教育を行っています。



研修風景

❖ 大規模災害への対応

東日本大震災を踏まえて、2012年に「大規模災害対応マニュアル」を策定しました。本マニュアルでは、地震などの大規模災害発生時に従業員が安全を確保し、二次災害を防止するなど冷静に行動するためのガイダンスを示しているほか、普段の備えについても説明しています。これを危機管理委員会委員と部門長、部署長に配布し、内容を共有しています。また、災害発生後、事業を速やかに復旧・継続するための「事業継続計画（BCP）」も併せて策定しました。

「大規模災害対応マニュアル」に沿って非常食や各種備品の確保などを進めるほか、避難訓練を実施するなどして有事に備えています。避難訓練については、東日本大震災で得た教訓などを踏まえて、さまざまな想定のもと、毎回工夫しながら実施しています。また、全従業員に「防災カード」を配布し、日頃から災害時の対応についての意識づけを図っています。また、災害時に菓子類を提供する内容の協定（防災協定）を、各工場の地元自治体（埼玉県狭山市、滋賀県近江八幡市、福岡県筑後市）と締結しています。

防災協定とは、自治体と民間企業が災害発生時における人的・物的支援について定めた協定です。狭山市、筑後市とは菓子類の供給協力を、近江八幡市とは菓子類及び生活用水の供給協力をお約束しています。

このほか、埼玉県さいたま市とロッテ及び千葉ロッテマリーンズは、災害時にロッテ浦和球場を避難場所として使用することで合意しています。



訓練の様子

❖ AED（自動体外式除細動器）の設置

当社を訪問されたお客様、地域住民の皆様、従業員に万一のことが起きた場合に備えて、本社と各工場にAED（※）を設置しています。

いざというときにAEDを正しく操作できるよう、本社、各工場の従業員は、AEDの操作方法や人工呼吸などの救命措置について消防署の指導を受けています。

※AED：自動体外式除細動器。心停止の際に、必要に応じて電気的なショック（除細動）を与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器。



AED設置の様子



AED講習

すぐわかる! ロッテのサステナビリティ

ロッテは、サステナビリティ活動で今後取り組むべき課題を明確にするため、自社の重要課題（マテリアリティ）の抽出・整理を2018年3月までに行い、事業活動を通じて取り組むべきテーマを「食の安全・安心」「食と健康」「環境」「持続可能な調達」「従業員の能力発揮」の5つに整理しました。この5つのテーマについて皆様からの質問にお答えします。



1 たとえば品質で — 安全・安心でおいしいお菓子・アイス届けたい



安全や安心についての考え方を教えて

製品づくりにあたっては、安全・安心で高品質であることはもちろん、「楽しさ」「おいしさ」「やすらぎ」の付加価値が感じられることも不可欠であると考えています。それらすべてをロッテの実現すべき"品質"であるとみなし、全従業員で品質の向上に取り組んでいます。

→ [さらに詳しく](#)



安全・安心のためにどんな取り組みをしているの？

国際基準などに則り、原材料の調達から生産、出荷に至るまでの各工程で、品質管理を徹底しています。さらに、すべての方々にとって使いやすく、わかりやすい容器包装・表示をめざし、ユニバーサルデザインの観点から開発に取り組んでいます。

→ [さらに詳しく](#)





アレルギーが心配なんですけど…



食品表示法で表示が義務づけられている情報はもちろんのこと、お客様の関心が高い食品安全に関する情報や安心してお召し上がりいただくための注意事項を商品に記載するよう努めています。

アレルギー物質については、表示が義務づけられている7品目と表示が推奨されている20品目を記載し、安心してお召し上がりいただけるよう配慮しています。

→ [さらに詳しく](#)



2 たとえば健康で —「食と健康」の大切さを伝えたい



「食と健康」の分野での取り組みは？



「おいしい」だけでなく「体にいい」ものを「手軽に」摂りたいというお客様のニーズが高まっています。ロッテは、創業以来培ってきた知見や技術を活かし、食における新しい価値で社会課題の解決に貢献するイノベーション——「ロッテノベーション」を積極的に推進しています。

→ [さらに詳しく](#)



3 たとえば環境で——地球の豊かな自然を守りたい



環境への取り組みについて教えて



ロッテでは、低炭素社会の実現に向けた取り組みのひとつとして、物流に伴う環境負荷の低減に取り組んでいます。効率的な商品の積載に努めるとともに、同業他社との共同配送やモーダルシフトを推進しています。

→ [さらに詳しく](#)





ごみを減らすための工夫は？



循環型社会の実現に向けた取り組みとして、限られた資源の有効活用に努めるとともに、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の3Rを実践し、廃棄物の低減に取り組んでいます。

→ [さらに詳しく](#)



4 たとえば調達活動で——カカオ原産国の人たちに笑顔をもたらしたい



カカオの産地にはどんな支援をしているのですか？



ロッテ「ガーナチョコレート」の名前に縁の深い西アフリカのガーナ共和国。同国の農村地域では、病院が少なく薬や設備も不足しているため十分な治療が受けられないという問題を抱えています。ロッテは、保健施設の建設支援や保健推進員や助産婦が利用する自転車寄贈などに貢献しています。

→ [さらに詳しく](#)



5 たとえば従業員のために——さまざまな人材が能力を発揮できる環境をつくりたい



働く人たちへはどんな取り組みをしているの？



ロッテは、人材こそが事業を支えるもっとも重要な基盤であると考えて、従業員一人ひとりの能力を伸ばすための取り組みや、多様な働き方ができる職場づくりに取り組んでいます。

2018年2月には、日頃の健康維持・増進への取り組みが評価され「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」の1社として認定されました。（認定期間～2019年3月31日）さらに、2018年4月には、従業員の家庭と仕事の両立支援を目的として、浦和工場と狭山工場の近隣に、従業員が利用できる事業所内保育所「ハッピーマーチ保育園」を開設しました。

→ [さらに詳しく](#)





特集

ロッテのサステナビリティ

—マテリアリティ抽出・整理と今後に向けた取り組み—

ロッテの考え方

ロッテは、創業以来一貫して、「ユーザーオリエンテッド」「オリジナリティ」「クオリティ」という3つのロッテバリューを全ての企業活動の基本としています。これらを掲げた企業理念のもと、お客様をはじめ、地域や社会に新たな価値を提供することで、成長し続けてきました。例えば、1997年発売のキシリトールガムは、「歯を丈夫で健康に保つ」という全く新しい価値を生み出し、社会に貢献しています。

近年では、持続可能な社会の実現にいっそう貢献するため、ISO26000（※）を活用した取り組みを推進しています。

さらに、ロッテが取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を2018年3月に抽出・整理しました。今後はそれぞれについて目標を定め、実現に向けて取り組んでいきます。

また、刻々と変化する社会課題に対応するため、SDGs（※※）をはじめとする国際的なイニシアチブを踏まえ、ステークホルダーの皆様と対話・協働していきます。

※ ISO26000：ISO(国際標準化機構)が2010年11月に発行した、社会的責任に関する国際規格。

※※ SDGs (エスディーゼーズ)：持続可能な開発目標。2015年9月の国連総会で採択された、17のゴールと169のターゲットからなる国際目標。2030年までに持続可能な世界を実現することを目指す。

重要課題（マテリアリティ）

ロッテは、サステナビリティ活動で今後取り組むべき課題を明確にするため、自社の重要課題（マテリアリティ）の抽出・整理を2018年3月までに行いました。これにあたっては、ISO26000の7つの中核主題をもとに、部門横断のグループワークを複数回実施。議論を重ねることで課題を抽出し、それらの課題が事業活動に及ぼす影響を検討しました。また、外部の有識者にもご意見をいただき、社会に及ぼす影響を踏まえた結果、事業活動を通じて取り組むべきテーマを、「食の安全・安心」「食と健康」「環境」「持続可能な調達」「従業員の能力発揮」の5つに整理しました。



部門横断のグループワークを複数回実施

マテリアリティマップ



重要課題（マテリアリティ）抽出・整理のプロセス

STEP1：課題の把握

各部署で課題をリストアップ

STEP2：重要課題の抽出

リストをもとにして主要なテーマごとにグループディスカッションを実施し、事業活動における重要性を討議

STEP3：有識者とのダイアログ

外部有識者から、幅広い観点で「ロッテが重視すべき取り組み」について意見交換

STEP4：重要課題の整理

上記のディスカッション、ダイアログをもとに重要課題を整理

今後：中長期目標とアクションプランの策定

重要課題に対し中長期目標と、その実現のためのアクションプランを策定

重要課題（マテリアリティ）への取り組みとSDGsとの関わり

食の安全・安心

製品づくりにあたっては、安全・安心で高品質であることはもちろん、「楽しさ」「おいしさ」「やすらぎ」の付加価値が感じられることも不可欠であると考えています。それらすべてをロッテの実現すべき"品質"であるとみなし、全従業員で品質の向上に取り組んでいます。

関連するSDGs



食と健康

健康意識の向上や少子高齢化、食生活の多様化といった社会変化を背景に、「おいしい」だけでなく「体にいい」ものを「手軽に」摂りたいというお客様のニーズが高まっています。ロッテは、創業以来培ってきた知見や技術を活かし、身体はもちろん、心の健康にも役立つ製品の研究・開発に注力しています。食における新しい価値で社会課題の解決に貢献するイノベーション——「ロッテノベーション」を積極的に推進しています。

関連するSDGs



環境

地球環境の保全は生命の存続にかかわる最重要課題であり、また私たちのビジネスも、地球環境の恩恵を受けて成り立っています。こうした考えのもと、持続可能な地球環境の実現に貢献することを重大な責任の一つとらえています。なかでも「低炭素社会」と「循環型社会」の実現に向けた貢献を重点課題と位置付け、グループ全体で取り組んでいます。

関連するSDGs



持続可能な調達

高品質な製品・サービスを安定的にお客様にお届けするためには、安全・安心であることはもちろん、環境や社会にも配慮した、持続可能な原材料の調達が重要だと考えています。

これを実現するため、お取引先や業界内外のステークホルダーと連携して、サプライチェーン全体で持続可能な調達活動を推進しています。

関連するSDGs



従業員の能力発揮

ロッテは、人材こそが事業を支えるもっとも重要な基盤であると考えています。その一人ひとりが持てる力を存分に発揮し、いきいきと活躍できる環境を整えることが、持続的な発展につながります。働く人を取り巻く環境が大きな変化を迎えるなか、よりよい職場環境づくりに取り組んでいます。

関連するSDGs



COLUMN

重要課題（マテリアリティ）特定に向けたダイアログの実施

ロッテは2018年2月、検討中のサステナビリティの重要課題（マテリアリティ）について社外のご意見を伺うべく、有識者2名を招いて各人とダイアログを開催しました。当日は、事前の検討で絞り込まれた5つの分野について、「ロッテが重視すべきことは何か」を中心にお話いただきました。

■参加いただいた外部有識者（50音順）



井出 留美氏

ジャーナリスト
食品ロス問題専門家
第2回食生活ジャーナリスト
大賞（食文化部門）受賞者



浦郷 由季氏

全国消費者団体
連絡会
事務局長

■いただいた主なご意見

Q1. ロッテとはどのような会社だと認識しているか

井出氏：ロングセラーを大切にすることと、新しいものへのチャレンジすることの両方を兼ね備えた、バランスのよい会社だと思っています。

浦郷氏：お菓子をつくる会社であり、その意味で、消費者にとっては身近な会社だと思います。社会貢献においても、親子で楽しく過ごす、あるいは場を盛り上げるといった"お菓子の役割"を通じた貢献に期待しています。

Q2. 「食の安全・安心」分野で重視してほしいこと

井出氏：アレルギーを商品パッケージで非常に分かりやすく表示していることは評価できますし、こうした取り組みはさらに進めてほしいです。例えばピクトグラムなどを取り入れると、海外の方にも分かりやすいですね。

浦郷氏：食品を購入する消費者が知りたいこととして、農薬や添加物、遺伝子組み換え作物の使用などが挙げられます。これらについて、きちんと基準に基づいて使用すること、そして、しっかりと情報提供することが大切です。

Q3. 「食と健康」分野で重視してほしいこと

浦郷氏：最も期待しているのは消費者教育です。食品をつくる企業ですので、やはり食育には注力してほしいです。さまざまな食材をバランスよく摂取することが一番健康に良いということ、子供に教える一助となってもらえればと思います。

これ以外では、すでにキシリトールガムに関連して、お口の健康というテーマで教育をしていますが、とてもよいテーマだと思います。

Q4. 「環境」分野で重視してほしいこと

井出氏：食品をつくる企業として、フードロスの削減に取り組むべきです。特に、食品リサイクル法で最優先事項とされる「リデュース」に目を向けてほしい。食料の廃棄を半減するというような目標を掲げるのもよいですし、すでに取り組んでいることがあるなら、もっと事例を発信してほしいと思います。

これ以外では、温室効果ガスの排出削減や水の使用量削減が重要なテーマになるのではないのでしょうか。

Q5.「持続可能な調達」分野で重視してほしいこと

浦郷氏：一般の消費者にとっては、原材料やその産地の事はよく見えないのが現状です。産地での環境破壊の回避やフェアトレードの推進など、一つひとつの課題にきちんと対応して、その取り組みを発信してほしいです。

Q6.「従業員の能力発揮」分野で重視してほしいこと

井出氏：健康を謳う企業としては、社員の健康も重視してほしいです。

浦郷氏：女性の力をもっと活用するべきだと思います。男女問わず生き生き働ける職場なら、社員の発想も豊かになり、良いアイデアが出てくるのではないのでしょうか。社内保育所は、その点でとてもよい取り組みだと思います。

Q7.その他、アドバイスなど

井出氏：昨今では特にSDGsを意識されているとうかがいましたが、この17番目の目標には「パートナーシップで目標を達成しよう」とあります。今後はロッテだけでなく、社外と協働して取り組むというアプローチも考えられるのではないのでしょうか。このほかにも、SDGsのどんな目標の達成に貢献できるのかを検討して、経営理念や中長期計画に組み込んでいくべきだと思います。

浦郷氏：社会貢献活動については、もっと情報開示をしていくべきだと思っています。また、消費者が共感しやすい、参加型の社会貢献活動ももっと検討してはいかがでしょうか。

ご意見を受けて

サステナビリティへの取り組みや情報発信をこれまで以上に加速してまいります。

ロッテは現在、自社の事業活動における重要課題（マテリアリティ）を整理し、それらに対して目標の設定を進めています。サステナビリティを企業課題の中心に据えて取り組んでいくという将来像に向けて、ようやくスタートを切ったところです。

ダイアログではそれに先立って、たくさんの宿題を頂戴しました。

ロッテがこれまで行ってきた事業活動や受け継いできた創業の精神に照らしてみると、すでに取り組んでいる事項がある一方で、取り組みが限定的だったり、外部への発信が十分でなかったりした部分があったことを改めて教えていただきました。

今後はいただいたご意見を肝に銘じ、持続可能な地球社会の実現に貢献し、世界中の人々から愛され、信頼される企業となるために、これまで以上にサステナビリティへの取り組みを加速してまいります。



株式会社ロッテ
取締役
経営戦略本部長
坂井 建一郎

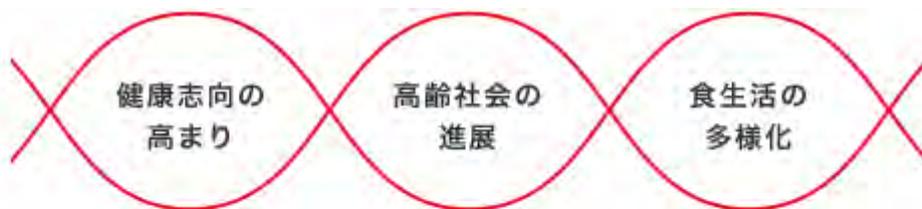
健康を、おいしく。

ロツテノベーション!



昨今、企業が果たすべき大きな責任として、本業を通じて社会の期待や要請に応え、社会課題の解決に貢献していくことが求められています。

食の分野においては、健康に対する意識向上や少子高齢化、食生活の多様化といった社会変化を背景に、「おいしい」だけでなく「体にいい」ものを「手軽に」摂りたいというニーズが高まっています。菓子メーカーであるロッテも、こうしたニーズに応えるための研究・製品開発に力を入れています。時には他分野の企業とも協働し、ロッテが大切にしてきたおいしさを軸に、食における新しい価値を生み出すイノベーション—「ロツテノベーション」を積極的に推進しています。



体にいいものを手軽においしく摂りたい!

ロツテノベーション!

CASE
01

単なる嗜好品を超えて
歯ぐきの健康からみんなの生活を豊かに。

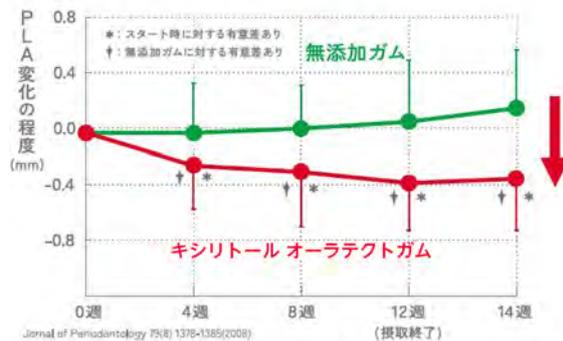


「歯ぐき」を健康に保つクホのガム

**キシリトール
オーラテクトガム**

ロッテはガムを中心として成長してきた菓子メーカーとして、ガムのさまざまな特長に注目し、単なる嗜好品としてだけではなく付加価値をもたせる研究に力を入れてきました。そうした成果の一つとして、ユーカリ抽出物を配合した、歯垢の生成を抑え、歯ぐきを健康に保つ「キシリトール オーラテクトガム」を開発。「嗜好品としてのガム」に、「歯ぐきを健康に保つ」という新たな機能を付加し、みなさんの毎日の生活をより豊かにしていきたいと考えています。

歯垢付着量の変化



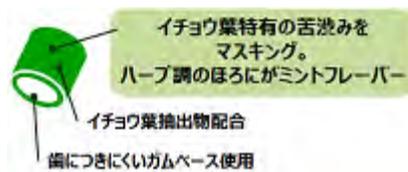
「キシリトール オーラテクトガム」を商品化する際に、最も苦労したのは「機能性」と「おいしさ」の両立です。いくら歯ぐきを健康に保つとしても、おいしくなければくり返し召しあがっていただけません。この点には菓子メーカーとして徹底的にこだわり、ユーカリ抽出物の苦味を抑える技術を開発することで、「おいしさ」を損なうことなく必要な量を入れることができました。今後も世の中の役に立つ商品を生み出し、それをゴールとせず、さらにまた新しいものを作りたいと考えています。

CASE
02

高齢社会のお悩みに応えて。
日々、手軽に食べられるお菓子で応援

今や日本人の約4人に1人がシニア世代。その7割以上が、日々の物忘れをはじめとする"記憶力の低下"を実感し、将来への不安を感じています。ロッテはこのニーズに応え、中高年の方の記憶力を維持すると報告されている「イチョウ葉抽出物」を配合したお菓子の開発に取り組んできました。その成果が、「歯につきにくいガム粒<記憶力を維持するタイプ>」「歯につきにくいガム板<記憶力を維持するタイプ>」です。

イチョウ葉抽出物は、記憶力を維持する機能がある一方、そのままでは強い苦みがあり、食べづらい風味を持っています。そこで、苦みのマスキングに効果的な甘味料や、ロッテオリジナルの"シュガーフレーバー"を製品に配合するほか、イチョウ葉抽出物をチップ化するなど、食べやすいように工夫を凝らしました。



手軽に毎日食べていただけるお菓子の機能性を高めることで、今後も、さまざまな世代の方の充実した生活を応援します。

チョコノベーション!

CASE
03

乳酸菌を“生きたままいつでもどこでも摂れる”
という新しい価値を。

お客様の摂りたい成分として、上位にあがる「乳酸菌」。ロッテではお菓子と乳酸菌を組み合わせることで、新しい価値を提供することができないか、検討を続けてきました。その結果生まれたのが「乳酸菌ショコラ」シリーズです。腸内環境を改善する働きがあることが報告されている乳酸菌T001を、チョコレートで生きたまま包むロッテ独自の製法により、常温で持ち運べて、時間や場所を選ばず気軽に食べることができます。これによって、乳酸菌を“生きたままいつでもどこでも摂れる”という新しい価値を社会に提供することができました。

これからも、既成概念にとらわれず、お客様のみなさまの目線に立った商品を生み出すための研究を続けていきたいと思えます。



乳酸菌T001が腸内環境を改善します

乳酸菌ショコラ

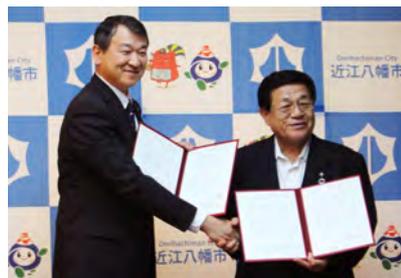


ロッテは企業理念に基づき、
 持続可能な社会の実現に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。
 ここでは、2017年4月から2018年3月までに取り組んだ活動をご紹介します。

2018
 6月

災害時に物資を無償提供する 防災協定を締結

ロッテは、工場所在地の自治体との「防災協定」締結を進めています。
 防災協定は自治体と民間企業が取り結ぶもので、災害発生時における人的・物的支援について定めた協定です。ロッテでは、2017年1月19日に埼玉県狭山市、2017年6月1日に滋賀県近江八幡市、同8日に福岡県筑後市と協定を締結しました。
 協定に基づき、災害発生時には、狭山市・筑後市では菓子類、近江八幡市では菓子類及び生活水の供給に協力します。また、埼玉県さいたま市とロッテ及び千葉ロッテマリーンズは、災害時にロッテ浦和球場を避難場所として使用することでも合意しています。



各自治体と防災協定を締結（左から狭山市、近江八幡市、筑後市）

2018
1月

食品安全マネジメントシステム FSSC22000の認証を取得



2018年1月に浦和工場、狭山工場、滋賀工場が、3月に九州工場が、より食品安全にフォーカスした食品安全マネジメントシステム（FSSC22000、ISO22000、食品安全マネジメント協会JFS-C規格）を取得しました。

FSSC（エフエスエスシー）22000及びISO（アイエスオー）22000は、消費者に安全な食品を提供することを目的とした食品安全の国際的な認証規格です。JFS-C（ジェイエフエスシー）は、食品安全マネジメント協会（JFSM）が所有権をもつもので、日本発の第三者認証制度として、今後国際的に利用されることが期待されています。



2018
6月

「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」の 1社に認定



2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

2018年2月、「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」の1社として認定されました（認定期間2018年2月20日～2019年3月31日）。

健康経営優良法人認定制度は、経済産業省が主管し、優良な健康経営を実施している企業を認定する制度です。今回の認定では、日ごろから従業員の健康維持・増進に取り組んでいることが評価されました。

会社の発展は従業員の健康と共にあると考え、今後も心身ともに健康に働ける環境づくりに取り組んでいきます。

2018
3月

事業所内保育所 「ハッピーマーチ保育園」を開設



ロッテは2018年3月、浦和工場と狭山工場の近隣地に事業所内保育所を開設し、4月2日に、従業員が利用できる「ハッピーマーチ保育園」として開園しました。

ハッピーマーチ保育園は、内閣府の子育て支援制度「企業主導型保育事業」を活用して設立されました。従業員の仕事と家庭の両立を支援することはもちろん、地域の待機児童の状況緩和にも貢献することを目的としています。

多様な社員がいきいき活躍できる環境づくりの一環として、今後も、従業員が子育てをしながら安心して仕事を続けられるようサポートしていきます。



ハッピーマーチ保育園

2018
3月

サステナビリティ活動の 重要課題(マテリアリティ)を整理

サステナビリティ活動で今後取り組むべき課題を明確にするため、自社の重要課題（マテリアリティ）の抽出・整理を行いました。

部門横断のグループワークを複数回実施したほか、外部の有識者にもご意見をいただき、事業活動を通じて取り組むべきテーマを、「食の安全・安心」「食と健康」「環境」「持続可能な調達」「従業員の能力発揮」の5つに整理しました。

詳細は「特集 ロッテのサステナビリティ」でご覧いただけます。



品質・安全

安全で安心できる高品質の製品・サービスを提供します。

報告内容には一部、最新の情報も含まれます。

品質への取り組み

基本的な考え方

ロッテは、企業理念のもと、製品が安全・安心で高品質であることを追求し、その上で「楽しさ」「おいしさ」「やすらぎ」の付加価値が感じられることも大切な品質基準の一つと考え、製品づくりに取り組んでいます。こうした考えのもと、「みなさまから愛され、信頼される、よりよい製品やサービスを提供し、世界中の人々の豊かな暮らしに貢献します」というロッテグループミッションの実現に向けて、企画・開発から、生産、輸送、販売に至るすべての段階でお客様にご満足いただける品質を実現するための取り組みを行っています。



品質方針

2018年4月18日 制定

私たちは、安全で安心できる高品質な製品やサービスをお届けし、世界中の人々の豊かな暮らしに貢献します。

■ 1. お客様視点で考えます。

私たちは、常にお客様の立場に立って考え、ご満足いただける製品・サービスを提供します。

■ 2. 安全・安心な製品づくりを第一に考えます。

私たちは、国際的に認められた食品安全マネジメントシステムに基づいた管理を行い、安全・安心な製品・サービスを提供します。

■ 3. 法令を遵守します。

私たちは、関連する法令を遵守し、お客様に信頼していただける製品・サービスを提供します。

■ 4. より良い製品づくりに努めます。

私たちは、日々調査・研究を尽くし、より高品質で独創的な製品・サービスを提供します。

■ 5. 正しい情報を提供します。

私たちは、お客様に信頼し、安心していただけるよう、正しい情報を適切に発信します。

食品安全方針

2018年4月18日 制定

私たちは、企業理念と品質方針に基づき、お客様に安心して召し上がっていただける安全な製品をつくり続けます。

■ 1. 私たちは、食品安全マネジメントシステムのもと食品安全目標を設定し、ものづくりに取り組み、継続的に改善します。

■ 2. 私たちは、食品安全に関する法令・規制を遵守します。

■ 3. 私たちは、お客様の要望に真摯に耳を傾け、外部機関とのコミュニケーションを密に行い、品質の向上に努めます。

■ 4. 私たちは、当社の取り組みにご賛同いただきながら、お取引先様と共に安全な製品づくりを行います。

■ 5. 私たちは、すべての従業員へ食品安全の重要性を周知し、食品安全への取り組みを推進します。

品質・安全管理

ロッテは、原材料受入れから生産、出荷に至るまでの各工程において厳重な品質管理を行ってきました。さらに、2018年1月に浦和工場、狭山工場、滋賀工場、3月には九州工場が、より食品安全にフォーカスした食品安全マネジメントシステム（FSSC22000、ISO22000（※1）、食品安全マネジメント協会JFS-C規格（※2））を取得しました。また環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001（※3）に基づき、環境への配慮も行っています。

とりわけ、生産段階における品質管理の徹底には力を入れています。各工場の生産技術課が中心となって品質・衛生状況を管理・監督しており、主要な生産品目ごとに管理ポイントを定め、製品の安全・安心・高品質の確保に努めています。また、ロッテにおける食の安全・安心を、統一した見解に基づき包括的に推進する部署として、品質保証部を設けています。

お客様から寄せられるお問い合わせやご意見のうち、品質や安全性に関するものについては、各工場、中央研究所、品質保証部が連携し、適切に対応し、問題があった場合には再発防止を図ることで、品質・安全性の維持・向上に努めています。

品質保証部では、2016年度から、工場に対する定期品質監査を行っています。ロッテ4工場（浦和・狭山・九州・滋賀）およびグループ会社の工場を対象に、共通の基準に基づいて品質保証体制を確立しています。



- ※1 FSSC（エフエスエスシー）22000／ISO（アイエスオー）22000：消費者に安全な食品を提供することを目的として、HACCPシステムを運用の中心に位置づけた食品安全の国際的な認証規格。ISO22000が全ての食品関連業種に対して汎用性のある基準なのに対し、FSSC22000では、食品関連組織として運営管理の信頼性を向上させるため、詳細な項目について運用ルールの体系化が求められる。
- ※2 JFS-C（ジェイエフエスシー）：食品安全マネジメント協会（JFSM）が所有権をもつ食品安全の認証規格。国際的に利用される第三者認証制度を日本から発信することも目的の一つにおかれている。
- ※3 ISO（アイエスオー）14001：組織が企業活動を行う際、環境に及ぼす影響を最小限に留める事を目的に定められた国際的な認証規格

衛生管理

ロッテの各工場では、製品の安全・安心を確保するために、徹底した衛生管理を行っています。

1. 異物混入対策

工場では商品への異物混入防止施策を重点的に実施しています。

生産現場への入室時には、手洗い・アルコール消毒はもちろん、空気の噴射による「エアシャワー」、掃除機のように吸い取る「吸引式毛髪・塵埃除去機」、「粘着ローラーがけ」の3重の工程を経て、衣服に付着した毛髪やホコリなどの異物を取り除いています。

また、製造工程においては、金属検出器、エックス線検査装置、画像処理装置など複数の異物検出装置を用いて商品の安全性を確保しています。



エアシャワー



吸引式毛髪・塵埃除去機



粘着ローラーがけ

2. 衛生点検の実施

工場の衛生管理状況の確認、工場間の情報共有、問題発生の予防などを目的として衛生点検を実施しています。衛生点検での指摘事項については直ちに改善し、次回点検時に改善が継続されているのを再確認しています。

ロッテの工場では、主に4つの衛生点検を実施しています。

1. 工場の生産現場の衛生管理担当による衛生点検
2. 工場長・部署長による衛生点検
3. 本社社員による衛生点検
4. 品質保証部による衛生点検（定期品質監査）



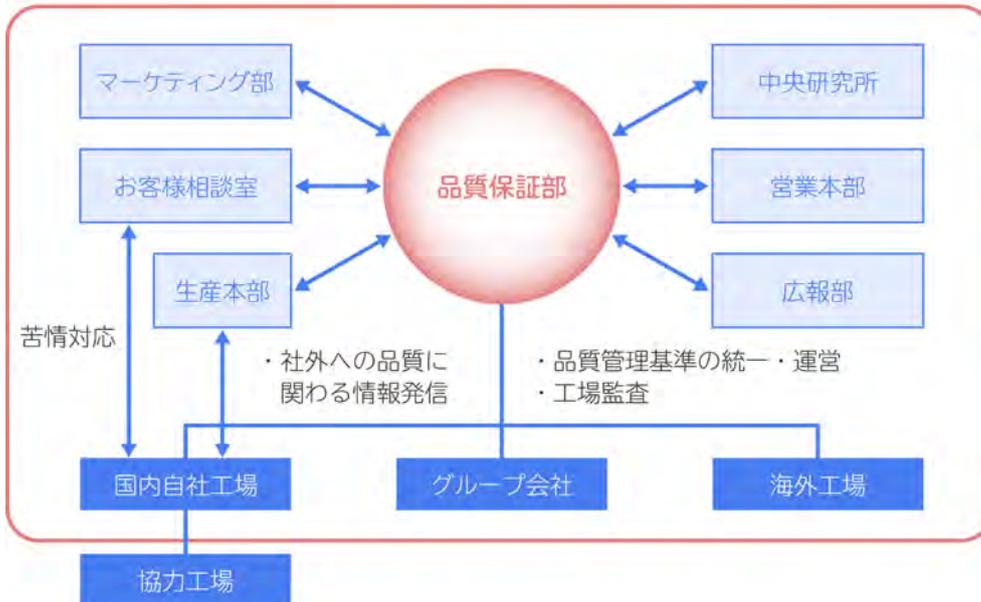
衛生点検の様子

品質管理を支える社内ネットワークの構築

ロッテは、発売されるそれぞれの商品について、企画開発の段階から「市場」「製品」「検査規格」「製造関連」などに情報を分類・記録し、イントラネットを通じて、研究、開発、工場、営業、宣伝などの各部門で共有する体制を整えています。この情報をもとに複数の部門が何重ものチェックを行うことで、品質管理の厳密性を高めています。

また、さらなる品質の向上を目指し、従業員への教育にも力を入れています。品質保証部が中心となって品質にかかわる教育体系を策定しており、各部門・部署に合わせた内容で、定期的に食品の衛生管理や適切な食品表示についての勉強会を実施しています。

品質保証体制の流れ



ユニバーサルデザインへの取り組み

容器包装には、本来、「内容を伝える」「品質を守る」という2つの役割があります。ロッテの容器包装は、(1)中に入っている商品がわかりやすいこと、(2)お客様に届くまで品質を保持できること、(3)楽しさが伝わること、の3点を基準としています。

さらに、すべての方々にとって使いやすく、わかりやすい容器包装・表示をめざし、ユニバーサルデザインの観点から開発に取り組んでいます。2014年度には、開発に当たって配慮すべきことをまとめた「ロッテユニバーサルデザイン基準」を制定しました。「ひとにやさしいパッケージ」を包装設計方針として掲げ、より良い包装・デザイン開発を進めています。

ロッテ ユニバーサルデザイン基準 ひとにやさしいパッケージ

■ 基準1 快適に開けやすいパッケージ

開け方がわかりやすく、開けやすいパッケージ

■ 基準2 わかりやすい表示

表示がわかりやすく、見やすい

■ 基準3 どのような商品であるかが正しく伝わるデザイン

過度な誇張や演出を抑え、誤解なく商品内容が伝わる表現

■ 基準4 安全と安心に配慮

商品を扱う時も安全性が高いこと

■ 基準5 捨てやすい工夫

使い終わったパッケージをつぶしやすくする

ユニバーサルデザインフォント使用

<「ガーナ」「アーモンドチョコレート」「カスタードケーキ」など>

裏面表示の読みやすさ向上と誤読防止のために、書体にさまざまな工夫が施されたユニバーサルデザインフォントを、「ガーナ」「アーモンドチョコレート」「カスタードケーキ」などの商品包装で採用しています。



ユニバーサルデザインフォントは、文字としての美しさを損なわずに、より小さなサイズでも「文字のカタチがわかりやすく」「読みまちがえにくく」「文章が読みやすい」ことをめざして、工夫し開発された書体です。

一般的な書体（新ゴ）とユニバーサルデザインフォント（UD新ゴ）の比較例



→ 株式会社モリサワ様のホームページより転用 (<http://www.morisawa.co.jp/fonts/udfont/>)

ユニバーサルデザインへの取り組み

<開封性改善>

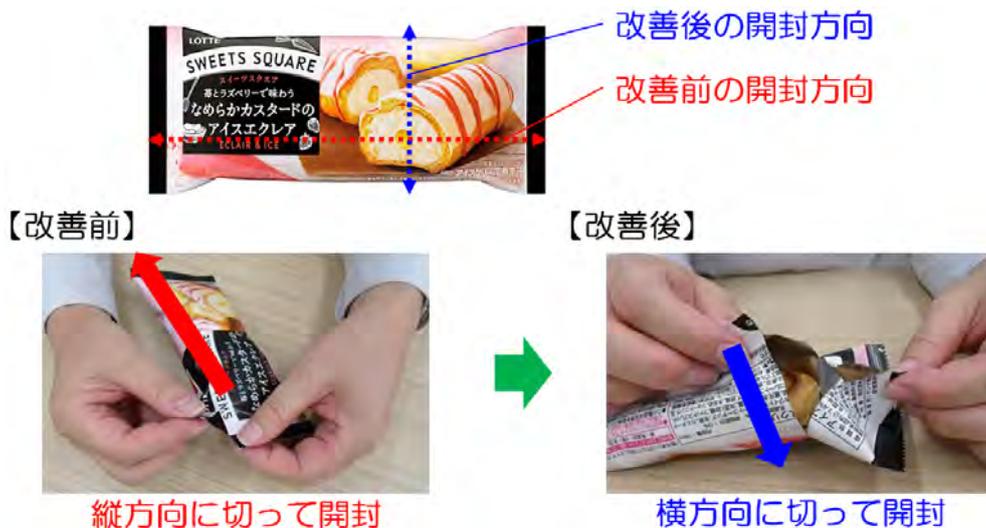
- ・「乳酸菌ショコラ」

切込み線の形状や角度を変更し、ミシン目を開けやすくしました。



- ・「SWEETS SQUARE アイスエクレー」

センターシール部にマジックカット入りの開封口を設け、横方向に切って開封する構造に変更しました。これまではエクレーを取り出す際に、包装にエクレーのチョコが付着して、手が汚れる場合がありましたが、この改善でエクレーを取り出しやすくなり、より食べやすくなりました。





コンプライアンス

正直な企業であり続けます。

コンプライアンス確保への取り組み

基本的な考え方

ロッテでは、法令を遵守することはもちろん、倫理的に正しく、正直な行動を実践する企業であることを基本としています。

従業員全員が共通の行動基準に基づいて業務を執行できるよう、2008年にはその指針となる行動憲章を策定しました。この行動憲章をグループ全体に浸透させ、グループ全体でのコンプライアンス意識の向上を図るために、全社員にコーポレートメッセージ、企業理念、行動憲章をまとめた小冊子を配布し、さらにパネル化して各部署に掲示しています。

このほか、朝礼時に各部署での、企業理念の唱和を推奨し、理念の周知徹底を図っています。

社内通報システムの設置

従業員が、法令違反などの不正行為や、パワー・ハラスメントなどの倫理違反をはじめとするコンプライアンス上の問題を発見した際の相談窓口として、法令違反相談窓口「クリーンライン」を2006年より運営しています。

この制度は、従業員（正社員、契約社員、派遣社員、嘱託社員、パート・アルバイト）が法令違反に気づいた際に、社内担当窓口の手紙や電子メール、電話で直接相談できる仕組みです。相談内容については、事実を調査した上で是正措置を取り、その後、改善したかどうかを確認しています。また、対応に当たっては通報者のプライバシー保護に努めるとともに、通報による不利益が発生しないよう細心の注意を払っています。

| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| 重大な不正行為 | なし | なし | なし |

このほか、職場でのセクシャル・ハラスメントを防止するため、1999年に専用の相談窓口「ロッテグループセクハラ相談窓口」を設置し、電話での相談を受け付けています。

❖ 情報の適切な管理・運用

セキュリティポリシーに基づき、「情報セキュリティマネジメント委員会」を設置して、お客様や従業員の個人情報、技術に関わる機密情報を保護・管理しています。

情報セキュリティマネジメント委員会は、従業員が情報や情報システムに関する方針を遵守しているかどうかを監視する役割も担っています。2016年度には同委員会が主導して標的型攻撃メール訓練を実施し、2017年度には、この訓練結果のレポートを公開して注意喚起を行いました。

| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 違反行為 | なし | なし | なし |

❖ コンプライアンス研修の実施

法令や社会規範を遵守した、公正で透明な取引を徹底するために、従業員を対象としたコンプライアンス研修を行っています。2017年度は、前年度に引き続き、グループ会社の新入社員を対象に、DVDなどの教材を使用した研修を実施しました。

今後も従業員を対象に、計画的にコンプライアンス研修を継続していきます。

❖ 表示関連法規・基準の遵守／商品表示・広告宣伝への配慮

商品パッケージの表示や広告宣伝活動に当たって、「お客様に信頼される表示・表現」をめざしています。関係法令を遵守することはもちろん、安全性・人権問題・環境問題・社会的倫理性などに留意しながら、適切な表示・表現となるよう細心の注意を払っています。

❖ 知的財産の保護（発明補償制度の導入）

自社の知的財産を重要な資産であると認識し、適切に使用するとともに、他者の知的財産についても、侵害することがないように細心の注意を払っています。また、社員の発明を助長奨励し、社業の発展に資するために、社内の発明に対する「発明補償制度」を設けています。



情報開示

情報をお伝えします。

製品表示での取り組み

食品情報の表示

ロッテは、食品表示法で表示が義務づけられている情報はもちろんのこと、お客様の関心が高い食品安全に関する情報や安心してお召し上がりいただくための注意事項を商品に記載するよう努めています。

中でもアレルギー表示に関しては、重篤度・症例数の多さから法令で表示が義務づけられている特定原材料7品目に加え、過去に一定の頻度で健康被害が見られるものとして表示が推奨されている20品目について含有の有無などを記載し、アレルギーのある方にも安心してお召し上がりいただけるよう配慮しています。表示方法についても、よりわかりやすくなるよう随時変更しています。

- 表示が義務づけられている7品目
卵、乳、小麦、えび、かに、そば、落花生
- 表示が推奨されている20品目
あわび、いか、いくら、オレンジ、カシューナッツ、キウイフルーツ、牛肉、くるみ、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、ゼラチン

※2015年4月に食品衛生法、JAS法、健康増進法の表示に関する部分を集めて「食品表示法」が施行されました。

わかりやすい表示例



アレルギー情報表示欄

基本的な考え方

お客様にご満足いただける商品やサービスを提供し続けるためには、お客様の声に耳を傾け、お客様との対話をより深めていく取り組みを継続していくことが重要です。

こうした考えのもと、ロッテグループはお客様から寄せられたご意見・ご要望を真摯に受け止め、迅速かつ適切な対応に努めています。

また、より多くのお客様にロッテの商品を知っていただき、安心して最もおいしい状態でお召し上がりいただくために、商品に関する情報発信も積極的に行っています。

お客様相談室の設置

ロッテは、お客様からのお問い合わせやご相談にお応えする窓口として、1994年よりお客様相談室を設置しています。

電話や郵便を通じてお客様相談室に寄せられたご意見・ご要望は、社内関連部署で共有し、製品の開発・改良、サービスの改善に役立てています。また、お客様からよくいただくご質問とその回答は、ホームページ上で商品分類別に掲載しています。

| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 |
|--------------|--------|--------|--------|
| お問い合わせ件数（千件） | 30 | 28 | 27 |

今後も、お客様のご意見・ご要望を真摯に受け止め、お客様に喜んでいただける商品づくりに努めていきます。

お客様対応のフロー図



※お問い合わせ内容が専門的な場合は、お客様相談室から社内各部署へ調査を依頼し、お客様相談室より回答・対応しています。

お客様への情報発信

お菓子を通じて、暮らしをいっそう楽しく、豊かにしていただくために、ロッテではお菓子に関するバラエティに富んだ情報を発信しています。お客様に向けては、ロッテホームページにおいて、商品の紹介や商品に関するQ&A、お菓子を使ったレシピ、お菓子に関する豆知識など、多彩な情報を掲載しています。

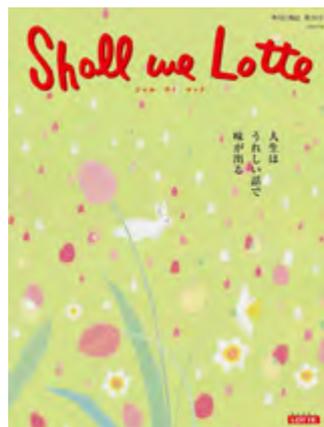
たとえば、グループ各社の商品やキャンペーン情報などを一つのアプリでチェックできるサービス「ロッテアプリ」を提供するほか、無料通話・無料メールアプリ「LINE」（ライン）に公式アカウントを開設し、子どもから大人までの幅広い世代に向けて、SNSを通じた定期的な情報発信をしています。このほか、ロッテとグループ会社の情報をさまざまな形で紹介するために、社外広報誌「Shall we Lotte」も年4回発行しています。

また2017年は、お菓子の歴史と文化を後世に伝え、菓子業界、関連産業の振興と地域の活性化に役立てるべく開催された「お伊勢さん菓子博2017（全国菓子大博覧会・三重）」に出展。『「健康を、おいしく。」する、ロッテのイノベーション、²「ロッテノベーション」』をメインテーマとする展示を行いました。

一方、流通様向けには、お客様からご質問があった場合に役立てていただけるよう、パンフレット「ロッテプレス」を発行しています。当社の商品を販売いただく皆様へもさまざまな情報を発信することによって、店頭でもお客様にロッテ商品の正しい情報を得ていただけるように努めています。



ロッテアプリ



『Shall we Lotte』
(2018年3月号)

お菓子を通じたコミュニケーション

お菓子を日常のコミュニケーションに活かしていただけるように、季節の行事に合わせたデザインの商品を開発し、発売しています。例えば、イースター、ハロウィンなどの時期には複数の商品のパッケージを共通のデザインにし、パッケージ自体にも遊べる要素を取り入れて、行事を身近に感じられるような工夫を加えているほか、販売店舗の皆様と協力して、店頭での季節感の演出にも継続して取り組んでいます。

さらに、お菓子を通じて感謝や出会いのメッセージを発信いただける商品も提供しています。一例が、母の日にカーネーションと赤いガーナをプレゼントしようという「母の日ガーナ」の提案です。『ガーナミルク』では、パッケージに白いスペースを設けて、メッセージを書き込めるデザインの商品も販売しています。これからも、お菓子を通じてコミュニケーションを深めていただけるような多様な商品を開発していきます。



エンジョイイースター



母の日ガーナ



エンジョイハロウィン

お菓子の世界を広げるレシピを紹介

当社のお菓子をさらに楽しんでいただけるよう、ホームページに「手づくりおかしレシピ」のページを設け、アイスクリーム、チョコレート、ビスケットを組み合わせた多彩なアレンジレシピを紹介しています。中でもガーナミルクの「手づくりスイーツレシピ」は、バレンタインデーシーズンに多くのお客様にご利用いただいています。

また、2016年度に開設した写真共有アプリ「インスタグラム」の「雪見だいふく」公式アカウントでは、アレンジレシピを用いた楽しみ方を紹介しています。今後もますます楽しんでいただけるよう、新しいメディアとの連動に取り組んでいきます。



手作りおかしレシピ



インスタグラムの雪見だいふくご当地レシピ



お菓子の新しい可能性に挑戦

おいしいチョコレートを使った新しいメニュー開発にも取り組んでいます。この一環として、チョコレートを調味料としても普及させ、新たな食シーンを創造する取り組みを「チョコごはん」と名づけて展開しています。

2017年度も、バレンタインデーやホワイトデーの時期には、麵屋武蔵グループでガーナチョコレートを使用したつけ麺の「つけガーナ」など、専門家の協力を得て開発したメニューを提供していただきました。



噛むことの効用について情報を発信

噛むことの大切さを多くの方に知っていただくため、イベントやセミナーを通じた情報発信に注力しています。

2017年度は、「噛むことから始める健康セミナー」「咀嚼と健康ファミリーフォーラム」「ハート・リング運動」「未来貢献プロジェクト（未病シンポジウム）」などのセミナー開催を支援。また、ダンベル体操と噛む運動を組み合わせた「健康ガムカムダンベル体操」の普及イベント「健康ガムカムダンベル体操2017」、『「いい歯で、いい笑顔」を日本中に。』をテーマとするフォトコンテスト「ベストスマイル・オブ・ザ・イヤー」などのイベントにも協賛しました。

今後もより一層の普及活動を展開していきます。

モンドセレクションで連続最高金賞を受賞

2017年5月、「世界食品オリンピック」とも形容される権威ある食品品評会「モンドセレクション」において、当社の「キシリトール オーラテクトガム<クリアミント>ファミリーボトル」が健康食品部門で最高金賞を、「スイーツデイズ 乳酸菌ショコラ」が食品全般部門で金賞を受賞しました。両商品は、2018年にもそれぞれ同賞を3年連続で受賞し、国際優秀品質賞（インターナショナル・ハイクオリティ・トロフィー）を授与されています。

最上の品質を究めることを企業理念に掲げるロッテグループの姿勢が評価されたものと考えています。



個人情報の保護

ロッテでは、お客様の個人情報について、適正な方法で取得するとともに、「個人情報の保護に関する法律」などを遵守し、適正な保護・維持・管理を徹底しています。

具体的には、個人情報に関する管理責任者を置き、個人情報データベースなどへのアクセス権を限定して、社内においても不正な利用がなされないように管理しています。また外部への不正流出、紛失、破壊、改ざんを防止するために、厳重なセキュリティ対策を実施しています。

| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 個人情報の紛失、漏洩などの発生事例 | 0件 | 0件 | 0件 |

個人情報保護に関する当社の姿勢は、ホームページにおいて「プライバシーポリシー」「ソーシャルメディアポリシー」として公開しています。



従業員

働く人を大切にします。

従業員への取り組み

基本的な考え方

企業活動を支えるのは従業員です。ロッテは、従業員一人ひとりが、自分らしく前向きにいきいきと働くことができる職場環境づくりと、自己実現できる企業風土の整備に力を入れています。

また、自ら成長しようと努力する従業員の能力向上をサポートするため、教育・研修体制の充実を図っています。

人事ポリシー（基本方針）

人事方針

2018年4月18日 改定

2016年10月1日 制定

私たちは、従業員一人ひとりが能力を最大限に発揮し、いきいきと活躍できる職場づくりを目指します。

■ 1. 自律型人材の育成を行います。

私たちは、一人ひとりが自ら考え行動する、自律型人材の育成を行います。

■ 2. 組織のパフォーマンスを最大限に引き出します。

私たちは、チームワークやコミュニケーションを重視し、組織のパフォーマンスを最大限に引き出します。

■ 3. 公正な評価・処遇を目指します。

私たちは、従業員のモチベーションの維持・向上に向け、公正で納得性のある評価・処遇を目指します。

■ 4. ダイバーシティとライフ・ワーク・バランスを推進します。

私たちは、多様な人材の活用と、生活と仕事の調和を推進し、一人ひとりが能力を最大限に発揮できる、働きやすく、かつ働きがいのある職場づくりに取り組みます。

■ 5. 健康保持・増進に努めます。

私たちは、従業員が心身ともに健康に働けるよう、健康保持・増進に努めます。

人事制度

ロッテは、人格や個性を尊重し、人種、性別、年齢、障がいなどによる差別のない人物本位の雇用・登用に努めるとともに、成果主義（目標管理制度など）に基づく公正な人事処遇を実践しています。

- 役割（仕事・責任）に見合った処遇
- 成果（プロセス・結果）に応じた報酬
- 公平・公正な成果・能力の見極め

求める人材像

従業員の雇用に当たっては、「お客様を第一に考え、夢ふくらむ商品やサービスを提供する」という永遠のポリシーを飛躍させるために、「多様性」「自主性」「創造力」「情熱」「ビジョン」を持ち続ける人材を採用し、育成に取り組んでいます。

- 多様性 : 様々な価値観を融合させ、新たなものを作り出す人
自主性 : 自分で考え責任を持って行動する人
創造力 : 固定観念にとらわれず様々な視点に立って、新しいアイデアを追及する人
情熱 : 何事にも挑戦し、最後までやり抜く人
ビジョン : 将来を見通して何をしなければいけないのかを考える人

雇用状況（株式会社ロッテ：2018年4月現在）

| | 男性 | 女性 | 合計 |
|----------|-------|------|-------|
| 従業員数（人） | 1,716 | 704 | 2,420 |
| 平均年齢（歳） | 38.3 | 36.3 | 37.7 |
| 新入社員数（人） | 88 | 52 | 140 |

教育・研修制度

ロッテは、一人ひとりが個性や能力を最大限に発揮し、いきいきと働くことを目的として、さまざまな教育プログラムや研修制度を整備し、主体的に自分自身の成長に向けて努力する社員を惜しみなく支援しています。社員向けに、部門別の専門研修やOJT、年次別研修といった仕事に関するスキルアップを支援する制度から、昇格者に対してのマインドセットや節目で今後のキャリアを考える研修、語学力強化研修（英語、韓国語、TOEICなど）、自己選択型のチャレンジスクール、通信教育まで幅広く整備し、それぞれの目的や目標に応じて参加・選択できるようにしています。

また、女性に活躍してもらうための女性リーダー研修も実施しています。

グローバル人材の育成については「海外研修制度」も設けています。この研修では、応募者の中から選抜された研修生が、国内研修で経営感覚と語学を修得した後、現地研修で各国の事業環境や市場の研究に取り組みます。

なお、こうした教育・研修制度は、より効果的な成果を得るために適宜見直し、改善や拡充を図っています。これらの取り組みにより、各種研修（※）への社員の参加率はのべ78%以上に達しています（2017年度）。

※株式会社ロッテ人事部・ロッテ商事（株）・（株）ロッテアイス主催の研修による

社員研修体系



ダイバーシティの推進

ロッテは、ダイバーシティ（多様性）を尊重し、さまざまな個性を持った従業員一人ひとりが活躍できる場の拡大に努めています。2016年にダイバーシティを推進する部署「いきいき活躍推進課」を設置しました。まずは職場で働く従業員の意識をモニタリングし、「働きがい」と「働きやすさ」の両面から活躍を後押しする環境を整えていきます。

イスラム教徒（ムスリム）の従業員が働きやすいように配慮

インドネシアは国民の8割近くがイスラム教徒（ムスリム）といわれており、現地のグループ会社・ロッテインドネシア社のブカシ工場では、ムスリムの従業員が働きやすいような環境づくりに取り組んでいます。教義に定められている一日5回のお祈りのうち、正午と午後のお祈りの時間が作業時間と重なることから、正午はラインを完全に停止して食事とお祈りの両方の時間がとれるようにしているほか、午後も交代でお祈りができるよう、シフト上の配慮をしています。また、工場内には礼拝所を設けています。



工場内に設けている礼拝堂

これに加えて、ケータリング会社と契約し、社員食堂のメニュー全てをハラール（※）対応のものとしています。

※ハラール：イスラム法に照らし合わせて合法であるもの



社員食堂

❖ 従業員の健康管理

ロッテは、従業員が心身ともに健康でいきいきと働けるよう、従業員の健康づくりに積極的に取り組んでいます。

法定健診、ストレスチェックのほか、人間ドックやがんPET検査、産業医による保健指導といった保健サービスを整備しています。よりきめ細かいケアを受けられるよう、今後もサービスの充実を図っています。

2018年2月には、日頃の健康維持・増進への取り組みが評価され、「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」の1社として認定されました（認定期間 2018年2月20日～2019年3月31日）。健康経営優良法人認定制度とは、経済産業省が主管している、優良な健康経営を実施している企業に与えられる認定・公表制度です。

会社の発展は従業員の健康と共にあると考え、今後も心身ともに健康に働ける環境づくりに取り組んでいきます。



❖ ライフ・ワーク・バランスの確保

ロッテは、一人ひとりが、仕事と生活を両立して公私ともに充実した日々が送れるよう、ライフ・ワーク・バランスに配慮した制度の拡充に努めています。

その一環として、社員に対し週1回のノー残業デー設置により長時間労働の抑制を図っているほか、法定以上の日数を取得できる産前産後休暇や育児休業の設定、また、育児・介護休業あるいは時短勤務（勤務時間の短縮）の取得促進に取り組んでいます。

❖ 事業所内保育所の開設

2018年4月に、グループの従業員の仕事と生活の両立支援を目的として、浦和工場と狭山工場の近隣に、従業員が利用できる事業所内保育所「ハッピーマーチ保育園」を開設しました。

本事業は、内閣府の子育て支援制度「企業主導型保育事業」を活用したもので、社員の福利厚生のみならず、待機児童の状況緩和にも貢献すると考えています。

今後も、男女ともに子育てをしながら安心して仕事を続けられるよう、従業員をサポートします。さまざまな観点からライフ・ワーク・バランスを推進していくことで、多様な社員がいきいき活躍できる環境づくりにつなげていきます。



ハッピーマーチ保育園

❖ 従業員のモチベーション向上

ロッテは企業理念の浸透とそれに基づいた行動を促進し、従業員一人ひとりが意識や行動力を高め、ロッテグループミッションである「世界中の人々の豊かな生活に貢献する」ことの実現を目指します。下記の取り組みなどを通じて、全従業員への企業理念の浸透とモチベーション維持・向上を図っています。

社内表彰制度「ロッテアワード」

ロッテでは、以前から会社や事業ごとに社員の優秀な取り組みを表彰してきました。これを2016年からグループ横断型の表彰制度「ロッテアワード」として統合し、毎年表彰を実施しています。

「ロッテアワード」では年に1回、企業理念のロッテバリューである「ユーザーオリエンテッド」「オリジナリティ」「クオリティ」を体現している事例を評価し、優れた事例を表彰します。これにより、社員一人ひとりの企業理念への理解とその体現を促進することで、ロッテグループミッションの実現を目指します。



《受賞会社・部署》

| | 社・部署 | 件名 |
|----------|--------------------|---------------------------------------|
| 最優秀賞 | (株) ロッテ 中央研究所 | 歯につきにくいガム<記憶力を維持するタイプ>の開発 |
| ロッテバリュー賞 | ロッテ商事(株) | 対競合シェア逆転への取り組み |
| | (株) ロッテ 狭山工場 | 9枚板ガム クレーム削減 |
| | (株) ロッテ マーケティング統括部 | ターゲット女性で結成したプロジェクトチームでのシャルロッテリブランディング |

❖ 製造部門のマイスター制度

製造部門において、技能や知識などの専門スキル向上と職場の活性化を目的とし、優れたスキルを有する社員を「マイスター」として認定する制度を設けています。

マイスターは、年1回、工場責任者の推薦に基づき、認定委員会の審査で認定され、マイスターマークの使用を認められます。日常業務の改善、後輩育成などに積極的に取り組むことで、周囲の社員の手本となることが期待されています。



環境

環境問題を重視しています。

環境保全への姿勢を「環境方針」に定めるとともに、ISO14001に基づく環境経営を推進しています。

環境方針

ロッテでは、地球環境の保全が生命の存続に係わる最重要課題であり、その恩恵を受けて我々のビジネスが成り立っていると捉え、持続可能な地球環境の実現に貢献することが、自社の重大な責任であると考えています。

私たちの環境に対する考え方を、「環境方針」で明文化し、全従業員がこの考え方を共有して、事業活動全体で環境に配慮しています。特に、「低炭素社会」と「循環型社会」への貢献がロッテの重点課題であると考え、その実現のためにグループ全体で取り組んでいます。

環境方針

2018年4月18日 改定

2000年5月10日 制定

私たちは、地球環境の保全が生命の存続に係わる最重要課題として捉え、地球の一員として継続的な改善活動を行い、皆様から信頼される会社であり続けることを目指します。

- 1. 私たちは、天然資源を有効に活用するよう、省エネルギー・廃棄物削減活動を継続します。
- 2. 私たちは、限りある天然資源を未来の世代も使用できるよう、環境保護活動を行います。
- 3. 私たちは、企業活動から発生する生物・水・空気への汚染物質を適正管理し、削減します。
- 4. 私たちは、地球温暖化対策に貢献するために、温室効果ガス排出の抑制活動を行います。
- 5. 私たちは、環境関連法規、自主管理基準を遵守します。
- 6. 私たちは、持続可能な社会づくりに必要なこれらの取り組みを行うために、継続的に教育活動を行います。



環境

環境問題を重視しています。

環境マネジメント

基本的な考え方

ロッテは、環境マネジメントシステム（EMS）の国際規格「ISO14001」に準じた活動を通じて、環境負荷の低減に努めています。

また、EMSがより実効的なものとなるよう環境監査を実施するとともに、従業員を対象とする教育・啓発活動にも取り組んでいます。

環境活動推進体制

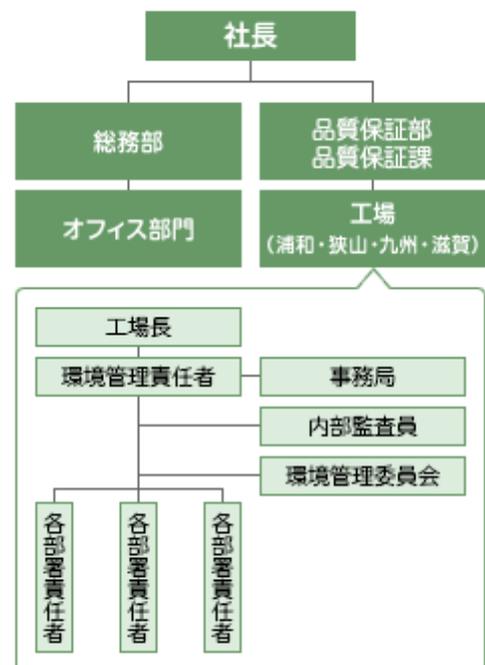
ロッテは、各工場がISO14001に則った環境負荷低減活動を実践し、品質保証部がその取りまとめを行うという体制のもと、環境保全活動を推進しています。

各工場では、工場長をトップとした環境管理体制のもと、工場の状況や実態に則した運営を行い、環境負荷の低減に取り組んでいます。

品質保証部は、全体のEMS運営管理業務の推進・支援を行っており、工場ごとのルール規格化や標準化のほか、工場間での調整を支援する役割も担っています。

また、オフィス部門における環境保全活動は、本社総務部が中心に推進・実施しています。

ロッテの環境活動推進体制（2017年度）



内部環境監査

ロッテでは、年に1~2回、各工場で内部環境監査を実施し、環境保全活動の継続的な改善に活かしています。監査の際に、監査項目や対象に合わせてチェックリストを作成・使用することで、監査の実効性を高めています。監査で指摘された「改善の機会（※）」を踏まえ、各工場で改善を図っています。2017年度は監査の実施機会を増やすなど体制強化に努め、その結果、指摘件数が増加しました。

| | 2016年度 | 2017年度 |
|-----------------|--------|--------|
| 改善の機会の指摘（※※）（件） | 33 | 102 |

なお、監査員は、独自の基準により認定された「主任監査員」「監査員」が務めています。

| | 2016年度 | 2017年度 |
|------------------|--------|--------|
| 環境監査員認定者数（※※）（名） | 234 | 212 |

※改善の機会：「不適合ではないが、システム改善のために何らかの対応が望ましい」と監査員が判断した事象

※※改善の機会の指摘件数および環境監査員認定者数：ISO14001を認証取得している4工場（浦和、狭山、九州、滋賀）の合計値

従業員の教育・啓発

ロッテは、従業員一人ひとりが環境保全の重要性を正しく認識し、理解を深めることが重要と考えています。こうした考えのもと、新入社員はもとより、新たに職場に入る全ての従業員に対して、同様の環境教育を行っています。

また、各種法定資格の取得を奨励しており、エネルギー管理士や高圧ガス製造保安責任者などの育成に力を入れています。



環境教育の様子

環境教育の評価制度

教育活動の効果を高め、実際の環境活動につなげるために、教育・訓練の有効性評価、力量（コンピテンシー）評価を実施しています。認識度、力量進度の調査結果をもとに3~6段階で評価することで、環境教育の実効性の向上を図っています。

環境管理責任者・事務局の取り組み

各工場の環境管理責任者・事務局では、品質保証部と定期的に会議を実施し、環境管理のシステムに関する情報や、その他の環境情報を共有しています。改訂規格の内部監査員教育なども実施し、環境対応レベルの向上に努めています。



環境

環境問題を重視しています。

省エネ活動の取り組み

基本的な考え方

ロッテは、限りあるエネルギーの使用量削減や環境負荷の低減を目的として、全社を通じて省エネ活動に取り組んでいます。

エネルギー使用量の多い工場では、省エネ設備・高効率機器の導入や燃料転換を進め、オフィスでは照明のLED化や「クールビズ」「ウォームビズ」といった活動を推進しています。

また、2017年6月には「エネルギー管理規定」を施行しました。遵守すべき明確なルールを定めることで、より厳密な省エネの実践に役立てる考えです。

これらの活動は、従業員の省エネルギーに対する意識改善や啓発にも役立っており、今後も継続して取り組んでいきます。

工場の使用エネルギー管理

菓子・アイス製造では、加熱や冷却・冷凍工程が多いことから、生産工程に多くのエネルギーを使用します。ロッテは、使用エネルギーを適切に管理するとともに、省エネ法^(※)における特定事業者の目標とされている「中長期的にみて年平均1%以上のエネルギー消費原単位の低減」の達成に向けて、各工場でのエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。

※省エネ法：正式名称は「エネルギーの使用の合理化に関する法律」。石油危機を契機として1979年に制定された法律で、工場・事業場、輸送、建築物、機械器具の4分野の事業者のエネルギー使用について規制している。

各工場でのエネルギー使用量の推移



※2015年度：神戸工場が追加されました。浦和工場ではアイスの新工場が稼働を開始しました。

❖ 省エネ設備導入および省エネ改善活動

ロッテの各工場では、設備面や運用面などさまざまな角度から、省エネに向けた改善活動を実施しています。

<設備>

1.生産工程での環境負荷低減に向けて、運転効率・能力の高い省エネ型設備の導入および更新を、順次実施しています。

<運用>

2.省エネ委員会を開催し、取り組み成果やエネルギー使用量・CO₂排出量の実績などを報告しています。

3.省エネ改善チームを設け、普段気がつかないエネルギーのムダを見つけ、一つひとつの小さな効果を積み重ねて確実な改善につなげることを目的に、「省エネパトロール」を実施しています。

「省エネパトロール」は、定期的に各工場で開催しており、施設の担当者および生産現場の担当者が工場を巡回して、エネルギー使用のムダがないかを確認しています。

- 節電の呼び掛け
- 圧縮エア漏れの防止に向けた改善
- 照明、空調、設備の電源など、生産ラインでのムダの削減



省エネパトロール

❖ 環境教育プロジェクト「地球教室」で出張授業を実施

環境教育プロジェクト「地球教室」の一環として、2017年11月28日、ロッテ狭山工場に東京都豊島区立高南小学校の児童を招き、工場の省エネ活動などを紹介する出張授業を行いました。本プロジェクトは、小学校高学年以上を対象として環境保全の重要性を伝えるもので、朝日新聞社が主催し、ロッテをはじめとした各協賛社、官公庁、自治体、NPO、NGO、小学校教員などが協力しています。



地球教室出張授業の様子



環境

環境問題を重視しています。

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組み

基本的な考え方

ロッテ商品の原材料の多くは自然の恵みであり、事業を維持・存続していく上で、地球環境を保全していくことは不可欠です。

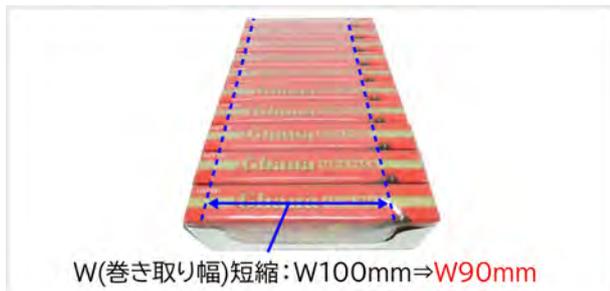
ロッテでは、循環型社会の実現に向けた取り組みとして、限られた資源の有効活用に努めるとともに、リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の3Rを実践し、廃棄物の低減に取り組んでいます。

リデュース（Reduce）：包材の削減、軽量化

容器包装の包材を削減することは、省資源はもちろんのこと、発生するごみの削減にもつながります。ロッテは、各種の品質試験を経て、「商品の品質を守る」という容器包装の最も重要な役割を確保した上で、容器包装の薄肉化や面積の縮小化などに積極的に取り組んでいます。

■ シュリンクフィルム幅の短縮化 （スリムパックシリーズ）

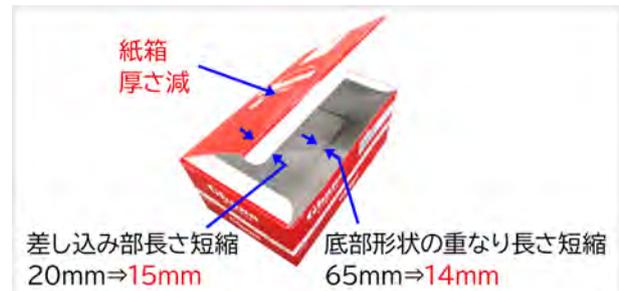
シュリンクフィルム（商品固定用のフィルム）の幅を短縮し軽量化を実現。



フィルム0.15g/個 ⬇️(10.0%削減)

■ 化粧箱の坪量軽量化・形状変更 （ガーナポップジョイシリーズ）

紙箱の厚さ（重量）減、差し込み部の長さ短縮、底部形状の重なり長さ短縮の3点により軽量化を実現。



紙箱8.4g/枚 ⬇️(16.0%削減)

■ 紙箱の軽量化(フラップ短縮)
(クランキービスケット)

紙箱横の重なり部分(サイドフラップ)を短縮することで軽量化を実現。



❖ リユース (Reuse) : フードバンクへの協力

ロッテはフードバンク活動に賛同し、NPO法人を通じて、2016年から自社製品の在庫の一部を寄贈しています。

フードバンク活動とは、食料を必要としている人や福祉施設などに食品を無償で提供する取り組みです。製品在庫を提供することで、「おいしい」「楽しい」という食の喜びを広く社会に伝える一助となるだけでなく、食の有効利用にもつながる有意義な取り組みと考え、今後もフードバンク活動への協力を継続していきます。

2017年度は、日本初のフードバンク「セカンドハーベスト・ジャパン」や「フードバンク埼玉」(埼玉県)、「フードバンクネット西埼玉」(埼玉県)、「文京区こども宅食プロジェクト」(東京都)、「順正デリシャスフードキッズクラブ」(岡山県)などの活動に協力しました。



フードバンクネット西埼玉

❖ リサイクル (Recycle) : ゼロエミッション

ゼロエミッションとは、リサイクルを徹底し、また、ある産業では廃棄物となるものを別の産業で原料として使うなどして、廃棄物を社会全体で利用しつくし、最終的に廃棄物をゼロにしようとする考え方です。ロッテの各工場では、最終的に埋め立て処分となる廃棄物をゼロにするべく取り組みを継続しています。

2017年度の工場におけるリサイクル率は95.1%となりました。前年度に比べてリサイクル率は低下しましたが、廃棄物の抑制に努めた結果、発生量は削減しました。

生産工程での廃棄物発生量とリサイクル量の推移





環境

環境問題を重視しています。

周辺環境の保護

基本的な考え方

ロッテの工場の周囲には、住宅やオフィスが多いことから、周辺環境には特に配慮しています。地域に根ざし、地域と共生する工場として、周辺の大気・水質への影響を最小限に抑えるために、さまざまな取り組みを進めています。

臭気対策

ガムやチョコレートなどの商品にはさまざまな香りがついていますが、この「香り」も工場外部に放出されると、「臭気」という環境負荷になってしまいます。そのため、強力な脱臭装置を設置して香りが外部に漏れないよう対策しています。

水質の保全

各工場周辺の水質保全に向けては、廃水処理施設を適切に管理・運用し、法令を遵守した排水を行っています。また、これらの取り組みの効果と、水環境の現状を把握するため、法律（食品衛生法・下水道法・水質汚濁防止法など）、条例（公害防止条例など）に基づき、上下水の水質および汚泥（廃水処理で発生する産業廃棄物）について、以下の測定・確認を実施しています。2017年度末現在、全工場において、適用される法律・条令などの基準すべてを満たしています。

上水（市水・井水）：仕込み水用途の上水の水質測定分析

上水（工業用水・井水）：仕込み水を除く用途の上水の水質測定分析

下水総合排水：廃水処理後の水質の適正管理

脱水汚泥：廃水処理場の汚泥に有害物質が含まれていないことを確認

冷却塔冷却水：冷却水のレジオネラ属菌類の検査をして水質管理が適正であることを確認（自主分析）

さらに各工場では、従業員の意識啓発や施設点検・メンテナンス、敷地内での水質モニタリングなどにも取り組んでいます。



環境

環境問題を重視しています。

物流の環境配慮

基本的な考え方

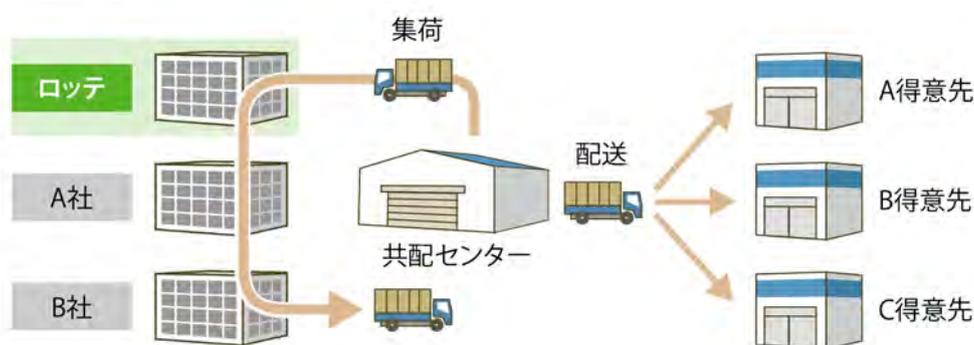
日本全国のお客様に商品をお届けしているロッテにとって、物流に伴う環境負荷の低減も、大切な取り組み課題の一つです。

ロッテでは、低炭素社会の実現に向けた取り組みのひとつとして、物流に伴う環境負荷の低減に取り組んでいます。商品の積載方法の効率化に努めるとともに、同業他社との共同配送や、モーダルシフトを推進しています。

共同配送の取り組み

共同配送とは、同業他社や運送業者、倉庫業者などと協力し、商品の配送を共同で行うことをいいます。配送に関わるトラックの必要台数を減らすことで、二酸化炭素排出量の削減につなげています。

共同配送のイメージ



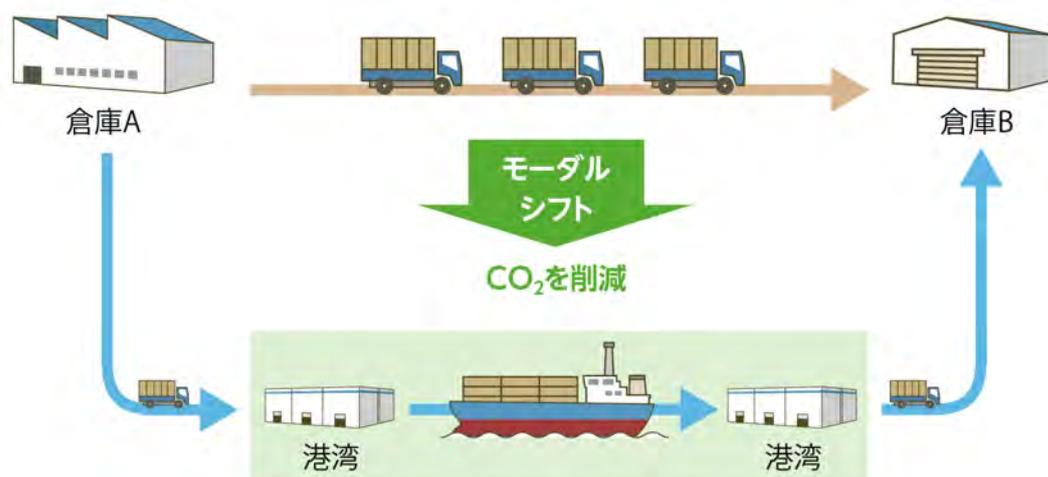
※図は共同配送の一例です。

モーダルシフトの推進

モーダルシフトとは、トラックによる輸送を、より環境負荷が低く大量輸送が可能な海上輸送または鉄道輸送に転換することをいいます。ロッテではモーダルシフトの推進に以前から取り組んでおり、現在は、九州から大阪、および東京から北海道への輸送において海運を活用しています。これにより、輸送時の二酸化炭素排出量の削減に努めています。

| | 2016年度 | 2017年度 |
|------------------------------|--------|--------|
| CO ₂ 排出量の削減（トン／年） | 約173 | 約193 |

こうした取り組みが認められ、2002年度に「エコシップマーク優良事業者」（※）に認定されています。また、船舶以外にも、関東から九州、北海道などの長距離輸送の一部で鉄道を活用しています。



九州-大阪間の船舶輸送
フェリーに乗り込むロッテ商品を載せたトラック

※エコシップマーク事業者：エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会に認定された、環境負荷の少ない海上輸送を一定以上の割合で利用した荷主企業や物流企業のこと。



エコシップマーク



社会貢献

社会貢献にも積極的に取り組みます。

社会貢献活動（2017年）

基本的な考え方

ロッテは、創業以来一貫して、「ユーザーオリエンテッド」「オリジナリティ」「クオリティ」という3つのロッテバリューを全ての企業活動の基本としています。これらを掲げた企業理念のもと、お客様をはじめ、地域や社会に新たな価値を提供することで成長し続けてきました。

2017年度は、以下のような活動に取り組みました。

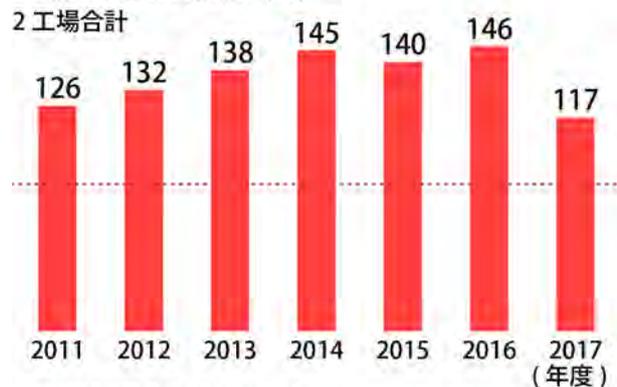
【食育】工場見学を通じた地域交流の実施

主力工場である浦和工場と狭山工場では、お客様や地域の方々を対象とした工場見学を実施しています。安全・安心なお菓子づくりの様子を実際にご覧いただくとともに、環境への取り組みを知っていただくための大切なコミュニケーションの場として、子どもたちを対象とした食育推進活動に取り組んでいます。

2工場の見学者数の累計は、2017年度末時点で38万人を超えました。現在、狭山工場では、チューインガムの包装ラインの見学のほか、模型を使ったお菓子づくりの説明や食品素材を使った体験実験などを実施しています。浦和工場ではチョコレート製品の生産ラインを紹介しています。また、浦和工場は、2013年にさいたま市の「環境に関する協力事業所」として登録されています。その活動の一環として、ホームページに掲載した環境に関する記事の一部などをホールに展示しています。

今後も、子どもたちにとって身近なお菓子づくりに関する学習機会を通じて、「食」や「ものづくり」、「環境保全」などに対する興味・理解を喚起してまいります。

工場見学者数の推移（%）



※2007年度を基準(100%)として

※2017年度は、浦和工場の新工場建設工事に伴い、受入れ人数枠を縮小したため、見学者数は減少しました。

身近なキャラクターをディスプレイ。
季節によって演出を変え、見学者の方に楽しんでいただけるよう心がけています。

狭山工場



入り口では季節の草花がお出迎え 歴代のコアラのマーチのパッケージを展示 ハロウィンの展示を実施

浦和工場



2017年は写真コーナーを新設

ホールでは環境活動について展示

見学通路から見るできない製造工程を
模型や実験などでわかりやすく説明しています。



狭山工場 コアラのマーチの生地焼き実験



狭山工場 ガム糖衣かけ模型

親子のふれあいに貢献

浦和工場・狭山工場の工場見学では、小・中学校の社会科見学など、団体を主な受け入れ対象としていますが、学校が休みの期間には、少人数のグループによる見学も受け入れています。ご家族でお菓子ができあがるまでの工程を楽しくご覧いただいています。

見学いただいた小学生の感想(一部抜粋)

- いろいろな教えていただきありがとうございました。
- ロッテ工場でこんなにたくさんのおかしをつくっているなんて知りませんでした。
- コアラのマーチの絵のしゅるいの多さにびっくりしました。
- ロッテのことがわかりました。
- いろんな実験ができてたのしかったです。
- シャルロッテという女の人の名前をもとに、ロッテという名前になったことをはじめてしました。



※ロッテホームページの「バーチャル工場見学」ページも参照ください。
ロッテのお菓子ができる工程を、動画や写真で見ることができます。
<https://www.lotte.co.jp/entertainment/factory/>

工場開放イベント「ナイトミュージアム」を開催

ポーランドで事業を営むロッテのグループ会社・ロッテウェデル社のワルシャワ工場では、2013年から、毎年5月に「ナイトミュージアム」と題して一般の方に工場を開放しています。

正午から24時まで工場を開放しており、来場者はWedelの歴史紹介、製造ライン、手作り工房、チョコレート彫刻の見学やチョコレートの試食などの催しに参加できます。戦前にWedelチョコレートを空輸した飛行機レプリカの公開展示なども実施しています。

当イベントには、2015年から2017年までの3年間で合計8,000人以上の方々にご参加いただきました。Wedelブランドについて一層のご理解をいただく機会と考え、今後も継続していきます。



ナイトミュージアム

その他の活動トピックス (2017年度)

【食と健康】 噛むことの大切さを伝える活動

ロッテはガムを扱う企業として、「噛むこと」の大切さを伝える活動を行っています。

■ 噛むことから始める「健康セミナー」

社会問題となっている未病対応の一助となるべく、下記のセミナーについて主催・協賛しています。

- (1) 咀嚼が創る健康長寿
- (2) マイナス1歳からはじめるむし歯予防
- (3) 歯周病予防

「咀嚼が創る健康長寿」は、NHK文化センター主催、公益社団法人日本歯科医師会後援で、2009年から開催しています。本講座では、高齢者の方にとっての、咀嚼と健康の関係をお伝えするため、咀嚼の効用をわかりやすく解説しています。

「マイナス1歳からはじめるむし歯予防」は、公益社団法人母子保健推進会議とロッテとが共催する形で、開催地の県市行政の協力を頂き、2012年度から地域の母子保健推進員らを対象として展開しています。むし歯菌の母子伝播を防ぐ、妊娠期からのむし歯予防を呼びかけています。

「歯周病予防」は、シティリビング主催、公益社団法人日本歯科医師会後援で、2016年に開始しました。本講座では、全身の健康とも関連の深い、口腔ケアと歯周病予防について情報発信しています。2017年度は全国計7か所でこれらのセミナーを実施しました。



全国7か所でセミナー開催を支援

■ 咀嚼と健康ファミリーフォーラム

「噛むことは健康のはじまり」をテーマに特定非営利活動法人日本咀嚼学会が1995年にスタートさせた「咀嚼と健康ファミリーフォーラム」に、ロッテは特別協賛しています。

フォーラムでは、歯学、医学、栄養学、食品学、調理学などの専門家や、介護・看護・医療・教育の現場で活躍されているオピニオンリーダーの方々など、様々な講師陣を招き、「噛むことの大切さ、噛むことによる健康効果」を多くの方々に呼びかけています。2017年は10月に東京都で開催しました。



咀嚼と健康ファミリーフォーラム

■ 未来貢献プロジェクト・未病シンポジウム

「未来貢献プロジェクト」は、読売新聞社主催のプロジェクトです。日本には数年先、数十年先の未来を見据えたさまざまな施策が必要であるという考えから、政府や自治体、民間企業が行っている取り組みを、新聞紙面、シンポジウム、各種イベントなどを通じて応援しています。

ロッテは2016年から、「未病」をキーワードに「健康寿命延伸」に向けた各業界の取り組みをクローズアップして理解と認知を拡げるシンポジウムに協賛。取り組みの発表を行っています。2017年は10月にシンポジウムが開催されました。



「未病」をキーワードとするシンポジウムの開催を支援

■ 健やか親子21

「健やか親子21」は、厚生労働省が2001年から開始した国民運動計画です。母子の健康水準を向上させるため、関係者、関係機関・団体が一体となり、さまざまな取り組みを推進しています。

ロッテはこの運動に企業メンバーとして参加。母子保健推進運動のサポート事業として、以下のような取り組みを行っています。

- (1) 「健やか親子21全国大会」開催を支援
- (2) 母子保健活動の活性化を目的とした顕彰事業「8020の里賞（ロツテ賞）」を支援
- (3) 母子伝播予防の観点から、むし歯予防の啓発による全身の健康づくりのための講演を全国各地で開催

2017年10月には、「母子保健推進員等及び母子保健関係者全国集会」の中で、親子の健康づくりのために活動する地域組織の優秀団体を表彰する「8020の里賞」の表彰式を行いました。



健やか親子21

■ ハート・リング運動

ひとりひとりの思いをつなげて「認知症にやさしい社会」をつくっていききたいという「ハート・リング運動」を『噛むチカラ』の面から応援しようと、2014年からNPO法人ハート・リング運動に協賛しています。

2017年度は「口から考える認知症」をテーマに、9月、東京都内でのフォーラムに協賛しました。



「ハート・リング運動」のフォーラムに協賛

■ 健康ガムカムダンベル体操

中高年齢者の方々に健康づくりとガムを噛むことの重要性を伝えることを目的とした健康体操イベント「健康ガムカムダンベル体操」に、1999年のスタートから毎年協賛しています。

このイベントは、例年、東京巢鴨のとげぬき地藏尊で行われるほか、高齢者のスポーツ・文化・健康と福祉の総合的な祭典である「ねんりんピック（※）」のなかでも開催。2017年度はいずれも9月に実施されました。高齢化がますます進む現代社会にふさわしい健康イベントとして、今後も展開を支援します。

※2017年度は秋田県秋田市にて開催。



健康ガムカムダンベル体操

■ ベストスマイル・オブ・ザ・イヤー

「ベストスマイル・オブ・ザ・イヤー」は、『「いい歯で、いい笑顔」を日本中に。』をキャッチフレーズに、日本歯科医師会が実施しているキャンペーンです。「8020運動（※）」とあわせて、歯科医療の正しい理解促進、イメージアップおよび咀嚼啓発を図る目的で行われています。2017年度は「とびきりの笑顔」をテーマにした『スマイルフォトコンテスト』として、「一般部門」と、全国の日本歯科医師会会員とそのスタッフ、歯科大学・歯学部学生を対象とした「デンタルスマイル部門」の2部門で募集が行われました。募集は「歯と口の健康週間」の6月に開始され、審査を経て、11月8日「いい歯の日」に授賞式が行われました。あわせて、全国の日本歯科医師会会員の投票により、最も笑顔の輝いている著名人が男女一名ずつ選出、表彰されました。

※日本歯科医師会が厚生労働省とともに推進する、80歳になっても20本以上自分の歯を保とうという運動。



■ 交通安全推進活動への協力

ロッテでは、1977年から、春と秋の交通安全運動で交通安全標語入り「注意んガム」を提供するなど、交通安全推進活動への協力を続けています。

2017年も、春と秋の全国交通安全運動期間に、交通安全協会、警視庁、JAF（日本自動車連盟）の各機関と協力して、交通安全標語入りのブラックガムを配布し、全国のドライバーに安全運転をPRしました。



2017年秋の標語入りガム

【食と健康】手づくりお菓子教室の実施

菓子についての知識を深め、より親しみを持っていただけるように、全国の小売企業様と組んで行うお菓子教室を2017年度も開催しました。

■ レディーボーデンで作ろう！親子で楽しむアイス教室

2017年度は4月～3月にかけて、全国各地で計14回、「レディーボーデンで作ろう！親子で楽しむアイス教室」を開催しました。合計約216組432名の親子の方に参加いただき、レディーボーデンを使ったキャラクターレシピ『笑うアイスクリーム』へのチャレンジを通じて、アイスクリームへの親しみを深めていただきました。



レディーボーデンで作ろう！親子で楽しむアイス教室

■ 親子でチューインガムをつくろう！

8月～10月にかけて東京都新宿区内で開催された「新宿クリエイターズ・フェスタ」のこどもアート展の一環として、親子で参加する手作りガム教室を8月に実施し、合計約180名の方に参加いただきました。新宿クリエイターズ・フェスタは、アートを通して新宿の魅力づくりを発信するイベントであり、ロッテは開催初年度の2011年から特別協賛しています。



手作りガム教室

【教育】 東京都小・中学校新聞コンクールに協賛

ロッテは壁新聞「ロッテクラストピックス 学級の話」を1964年7月の創刊以来、全国の小中学校に寄贈しています。各地の小・中学校で児童生徒やPTAが行っている活動を広くご紹介し、互いの活動を知っていただくことで、次世代育成で大きな役割を果たす学校という場をよりよくするお手伝いできればと考えています。

2018年2月の「東京都小・中学校新聞コンクール」にも協賛し、表彰式（主催：東京都小学校新聞教育研究会・東京都中学校新聞教育研究会、後援：東京都教育委員会・毎日新聞社）で4校に「新聞奨励・ロッテ賞」を授与いたしました。



新聞奨励・ロッテ賞の表彰盾

【環境】 ガム取り清掃活動

日本チューインガム協会では、ガムに関するマナーの重要性を一人でも多くの方に見つめ直してもらおうと、「ガムのポイ捨て防止」を促す清掃活動を毎年展開しています。ロッテはこの理念に共感し、日本チューインガム協会・銀座通連合会のご協力のもと、2002年から、新入社員研修の一環として本活動に参加しています。

2017年度は雨天中止となりましたが、例年4月に、新入社員と社員ボランティア約100名が、東京・銀座4丁目交差点付近の街並みを清掃しています。今後も道行く人々にエチケット・マナーについて考えていただけるように努めます。

【学校】 ベルマーク運動

ロッテは、ベルマーク教育助成財団のこの運動に、1971年から協賛会社として参加しています。援助の対象は、日本国内はもちろん、海外にも広がっています。

商品についているベルマークを、運動に参加するPTAが集めて、財団に送ると1点が1円に換算されて学校のベルマーク預金になります。その預金で自分たちの学校に必要な教材備品を協力会社から購入すると、購入金額の10%がベルマーク財団に寄付され、教育援助活動に活用されます。

【ベルマーク対象商品】

キシリトールガム〈ライムミント〉、キシリトールガム〈ライムミント〉3P、キシリトールガム〈ライムミント〉5P、コアラのマーチ〈チョコ〉、チョコパイ



海外の取り組み

海外でも社会貢献を推進します。

海外での社会貢献活動

❖ ガーナ

ジョイセフ"お母さんを笑顔にする活動"を支援

ロッテでは、途上国の妊産婦と女性を守る公益財団法人「ジョイセフ」の"お母さんを笑顔にする活動"に賛同し、2008年から毎年、ガーナ共和国へ再生自転車約200台分を届ける取り組みを支援しています。

診療所が不足している現地の村に届けられた再生自転車は、保健推進員や助産師が利用し、妊産婦の診療所への搬送や家庭訪問による健康教育などに用いられます。1台の自転車によって600~800人に基礎的な保健医療活動を行えるようになるとのことです。

2017年は、3月に、現地で活動するスタッフのために四輪駆動車1台を寄贈しました。今後も女性を笑顔にする活動を支援していきたいと考えています。



四輪駆動車

日本とガーナ共和国との国際文化交流活動を支援

「ガーナよさこい支援会」が展開する、日本とガーナ共和国の国際文化交流活動を2005年から支援しています。

2017年8月には、ガーナ共和国の高校生21名が研修旅行に来日。日本の高校生や訪問先地域との交流を行ったほか、「ロッテ・ガーナよさこい連」を結成して「原宿元気祭りスーパーよさこい」に参加しました。これらに加えて、ロッテ浦和工場のチョコレート製造ライン見学も実施されました。

今後も両国の若者の交流を支援し、視野の広い青年を育て、両国並びに世界の平和と繁栄に寄与することを目指します。



ガーナ共和国の高校生による日本研修旅行

❖ タンザニア

タンザニアの中学生の工場見学を受け入れ

2017年6月、タンザニアの「さくら女子中学校」から、生徒4名と引率の先生方の計8名がロッテ浦和工場を見学に訪れました。こうした見学の受け入れを通じて、日本のものづくりへの姿勢に関する理解を深めていただきたいと考えています。

❖ オーストラリア

「コアラ基金」にゴールドスポンサーとして協力

オーストラリアだけに生息する野生動物コアラは、都市開発などにより生息数が大幅に減少しています。同国では野生コアラの調査と長期にわたる保護を目的に「コアラ基金」が設立され、主食であるユーカリの森を守り植樹するなど幅広い活動が展開されています。

ロッテは「コアラのマーチ」の発売10年にあたる1994年から同基金に協力し、日本におけるゴールドスポンサーとして、絶滅危惧種にも指定されるコアラの保護活動を支援しています。



コアラの保護活動をテーマとする出張授業を実施

ロッテは、朝日新聞社主催の環境教育プロジェクト「地球教室」に毎年協力しています。このプロジェクトは、各協賛社、官公庁、自治体、NPO、NGO、小学校教員などが協力し、次世代を担う子ども達に環境保全の重要性を伝えるものです。その一環として、コアラの保護活動などをテーマとした出張授業などを行っています。

2017年度は、9月24日に全国の小学4～6年生約110人を集めて東京・有楽町で行われた「かんきょう1日学校」と、10月27日に実施した富山県砺波市立砺波北部小学校へのお出張授業で、コアラを題材として取り上げました。



かんきょう1日学校

❖ タイ

タイ・チェンマイ動物園のコアラサポーターとして活動

タイのグループ会社・タイロッテ社でも「コアラのマーチ」を販売していることから、オーストラリア・コアラ基金（上記）に連動して、2016年からチェンマイ動物園でのコアラサポートを実施しています。現在は、2006年の国王陛下（当時）60周年記念にオーストラリアから送られたコアラのサポーターとして、飼育エリアの整備などを支援しています。

歯の健康をサポートするイベントを実施

タイロッテ社では、2018年3月、タイ北部の山間部に住む小学生約300人を対象としたイベントを開催。歯の健康をサポートすべく、歯科医による無料検診などを行いました。



イベントの様子

さまざまな形で地域貢献・地域交流を検討

タイロッテ社では、障がい者の就業支援（2016年開始）や学生の職業経験支援（2017年開始）を継続的に実施しています。また、工場の近隣の小学生と植樹活動やペインティング活動を通して交流を図っており、さまざまなかたちでの地域貢献、地域交流に取り組んでいます。



学生支援活動



小学生との共同作業

インドネシア

母と子の交流を支援する取り組みを実施

ロッテインドネシア社では、2016年から、現地の母の日（12月22日）を「チョコパイ」を通じて支援する活動を行っています。

この取り組みでは、親子で過ごす時間が減ってきているというインドネシアの社会的課題に注目。ジャカルタ近郊の小学校で「チョコパイ」とメッセージカードを配布し、お母さんに感謝を伝えるきっかけづくりをしています。

お母さんを応援するブランドである「チョコパイ」を通じて、今後も親子の絆を深められるような取り組みを続けます。



インドネシアの小学校で母の日を支援

ベトナム

ロッテベトナム社がブランドアワード菓子部門で最優秀ブランド賞を受賞

2017年12月、ベトナムで事業を営むグループ会社・ロッテベトナム社が、Asia Pacific Brand Foundation (APBF)（※）主催の2017年度ブランドアワードでベトナム菓子部門ベストブランド賞を受賞しました。

同社は2016年（平成28）から、VOSA（ベトナム歯科協会）推奨商品である『キシリトールガム』の「歯を丈夫で健康に保つ」価値を最大限に訴求。現地の嗜好・文化風習に合わせた商品展開やマーケティング活動により、トップシェアを獲得しました。今回の受賞は、この取り組みが評価されたものです。



受賞トロフィーと表彰状

※マレーシアのマハティール現首相が設立した非営利財団

歯科医師会とのタイアップで地域の方の健康を支援

ロッテベトナム社では、地域の方の健康づくりを支援し、『虫歯のない社会』『豊かな社会』の実現に貢献するため、2015年～2017年の3年間に、ハノイとホーチミンの44大学で歯科医師会とのタイアップによる無料のデンタルチェックを実施しました。

同社ではこのほかにも、地域環境への取り組みなどを行っています。2017年11月には、ハノイ・ホーチミンの2大学で「きれいな緑を守ろう！」キャンペーンを実施。現地ユースユニオンの大学生らとともに構内および周辺の清掃活動を行いました。

❖ ポーランド

現地有力誌の企業ブランドランキングで2年連続1位を獲得

ロッテウェデル社は、1851年に創業し、2010年にロッテグループの一員となった老舗チョコレートメーカーで、近年ではこれまで以上にCSR活動にも力を入れています。伝統の力に新たな推進力が加わったことが評価され、2017年度には、現地有力紙『ジェチポスポリタ』主催の企業ブランドランキング総合部門（2017）で2年連続の1位に輝きました。今後もロッテグループのグローバル事業を牽引し、新たなビジネスチャンス創出を図ります。



表彰式の様子

健康でゆたかな社会づくりに向けたさまざまな取り組みを実施

ロッテウェデル社では、さまざまなCSR活動に取り組んでいます。例えば、社会支援団体と協力して展開している活動として、自社のチョコレートに関するノウハウを活かしたチョコレートワークショップの開催から、若手アーティストのための映画祭の実施、ワルシャワ工場屋上での養蜂箱設置まで、多様な取り組みを継続。また2016年からは、障がいを持つ人々を対象に、サッカーを中心としたスポーツ大会を開催しています。

歴史ある社屋の外観を保存

ポーランドの首都ワルシャワにあるロッテウェデル社の本社社屋（工場、オフィス）は、1927～1931年にかけて建設された歴史的に価値のある建造物です。特にその壁面は、第二次世界大戦の混乱を経てなお建設当時の姿を保っており、当時のワルシャワの建築を現代に伝える重要な産業遺産に指定されています。この社屋の外見を保つため、2007年から2010年にかけて外壁の清掃を行ったほか、増改築などを実施する際は、現地・ワルシャワ市の法令に従い、適宜必要な許可を得ながら進めています。



ロッテウェデル社屋

お口の恋人

LOTTE